

あま市 子育てに関するアンケート調査

調査結果報告

平成 31 年 3 月

あ ま 市

目次

I. 調査概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査対象及び調査方法.....	1
3. 調査票の回収状況.....	1
4. 標本誤差.....	2
5. 報告書の見方.....	2
II. 調査結果.....	3
1. お子さんと家族の状況について.....	3
2. 子どもの育ちをめぐる環境について.....	6
3. 保護者の就労状況について.....	10
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	15
5. 放課後児童クラブの利用状況と利用希望について.....	20
6. 地域の子育て支援事業の利用状況について.....	25
7. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について.....	29
8. 病気の際の対応について.....	30
9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	33
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	38
11. 育児休業など職場の支援制度について.....	43
12. 市の子育て支援全般について.....	45
13. 幼児教育・保育の無償化について.....	47

I. 調査概要

1. 調査の目的

あま市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたって、教育・保育事業の需要量の見込みを設定するうえでの基礎資料とするため、本調査を実施しました。

2. 調査対象及び調査方法

①調査地域

- ・あま市内

②調査対象者

- ・あま市に在住する就学前児童の保護者
- ・あま市に在住する小学生の保護者

③対象者数

- ・就学前児童の保護者：1,500名、小学生の保護者：1,500名

④対象者抽出方法

- ・無作為抽出

⑤調査期間

- ・平成31年1月

⑥調査方法

- ・郵送配布、郵送回収

⑦調査実施機関

- ・あま市

3. 調査票の回収状況

	就学前	小学生	合計
対象者数	1,500	1,500	3,000
回収数（率）	814（54.3%）	821（54.7%）	1,635（54.5%）
有効回答数（率）	814（54.3%）	821（54.7%）	1,635（54.5%）

4. 標本誤差

この調査は、母集団である就学前の児童または小学生の子どもをもつ保護者から一部の対象者を無作為に抽出して行いました。この調査結果からもとの全体の値を推定する標本調査です。この“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差です。今回の調査では下記の式で標本誤差を求めることができます。

$$\text{標本誤差} \quad \sigma = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}} \quad P: \text{回答率}(\%) \quad n: \text{有効回答数}(\text{件})$$

以下の表は、上式に n と P の値を代入して標本誤差を求め、作成したものです。

信頼度95%（100回中95回はこの範囲に収まる）の場合

	有効 回収数 (件)	回答率 (%)									
		5% (95%)	10% (90%)	15% (85%)	20% (80%)	25% (75%)	30% (70%)	35% (65%)	40% (60%)	45% (55%)	50% (50%)
就学前	814	1.5	2.1	2.5	2.8	3.0	3.2	3.3	3.4	3.5	3.5
小学生	821	1.5	2.1	2.5	2.8	3.0	3.2	3.3	3.4	3.5	3.5

この表の見方について例を挙げると、「就学前の回答数が 814 人であり、ある設問の 1 つの選択肢の回答率が 50%であった場合、全数調査との誤差の範囲は 95%の確率で±3.5%以内であり、実際の回答率は 46.5%～53.5%の範囲にある」と意味づけられるものです。

5. 報告書の見方

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回答数を示しています。
- ・比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が 100.0%にならない場合もあります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が 100.0%を超える場合があります。
- ・グラフ・表として示したもののうち、無回答の件数が 0 の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、問文・選択肢の文章を意味が変わらない程度に簡略化してある場合があります。
- ・報告書内の表現で『就学前』は「就学前の子どもをもつ保護者」、『小学生』は「小学生の子どもをもつ保護者」を指します。

II. 調査結果

1. お子さんと家族の状況について

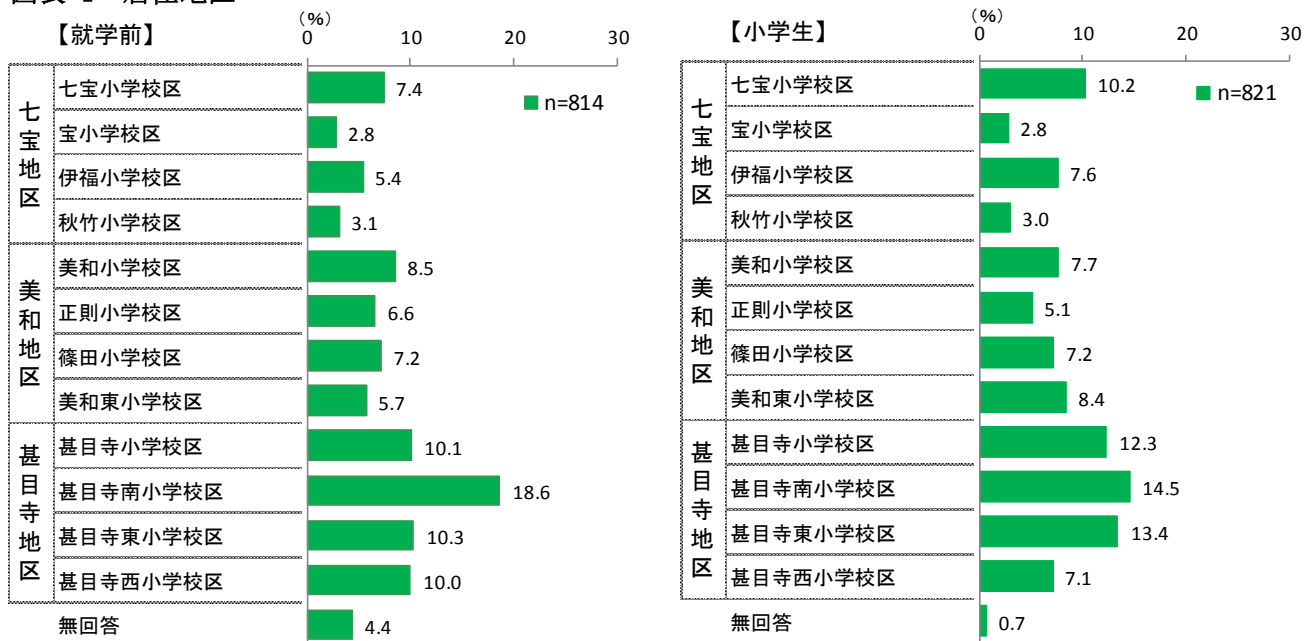
1. 居住地域

問 お住まいの学校区はどちらですか。

【就学前：問1、小学生：問1】

回答者の居住地区の割合は、“七宝地区”が就学前 18.7%、小学生 23.6%、“美和地区”が就学前 28.0%、小学生 28.4%、“甚目寺地区”は就学前 49.0%、小学生 47.3%の構成となっています。

図表 1 居住地区



2. お子さんの年齢

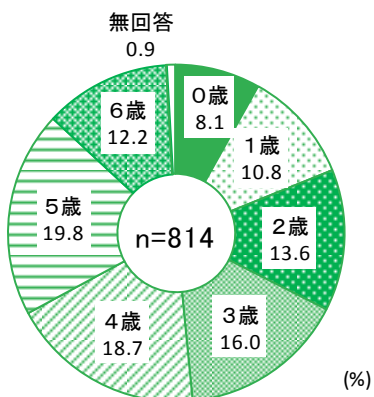
問 お子さんの年齢をお答えください。

【就学前：問2、小学生：問2】

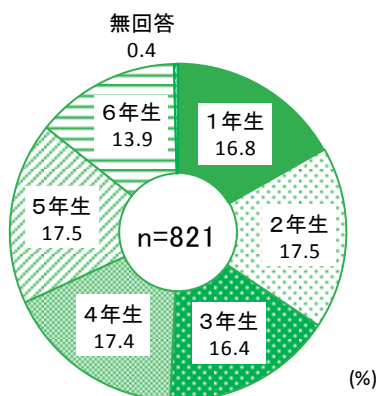
お子さんの年齢構成は、2歳以上では概ね15%前後の割合となっています。

図表 2 お子さんの年齢

【就学前】



【小学生】



3. きょうだい数

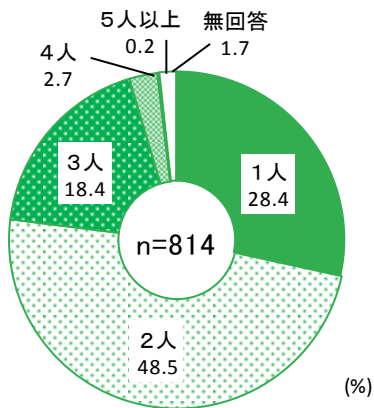
問 お子さんを含め、きょうだいは何人ですか。

【就学前：問3、小学生：問3】

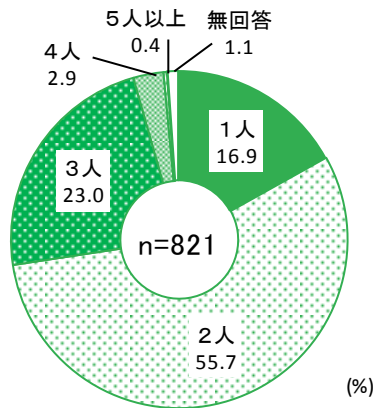
きょうだい数は、就学前・小学生ともに「2人」が5割前後となっています。「1人」は就学前が28.4%、小学生が16.9%の割合となっています。

図表 3 きょうだい数

【就学前】



【小学生】



4. 調査票の回答者

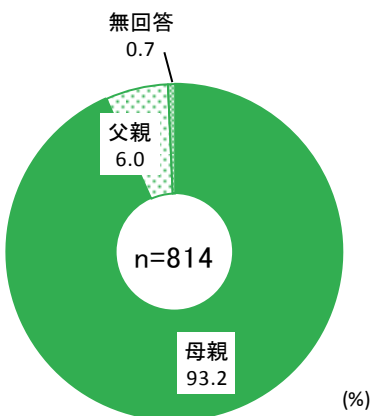
問 この調査票に回答いただく方はどなたですか。

【就学前：問4、小学生：問4】

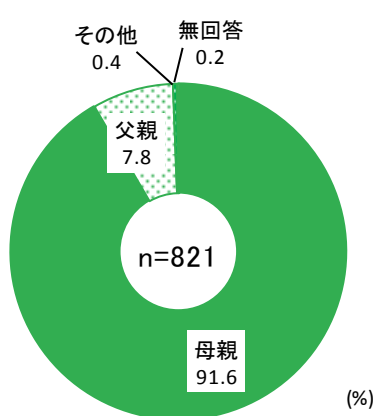
この調査票の回答者は、就学前・小学生ともに「母親」が9割以上となっています。

図表 4 調査票の回答者

【就学前】



【小学生】



5. 回答者の配偶関係

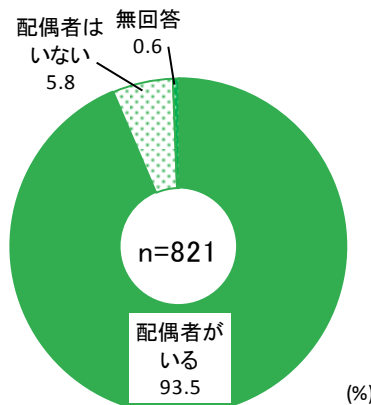
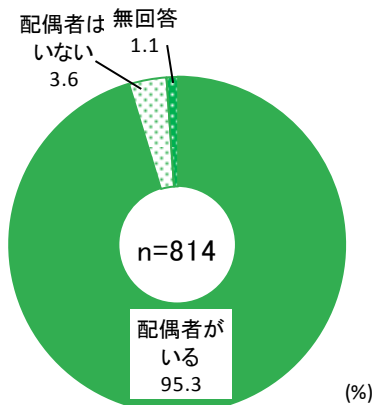
問 回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。 【就学前：問5、小学生：問5】

回答者の配偶関係は、就学前・小学生ともに「配偶者がいる」家庭が9割以上となっています。「配偶者がいない」と回答した割合は、就学前が3.6%、小学生が5.8%となっています。

図表 5 回答者の配偶関係

【就学前】

【小学生】



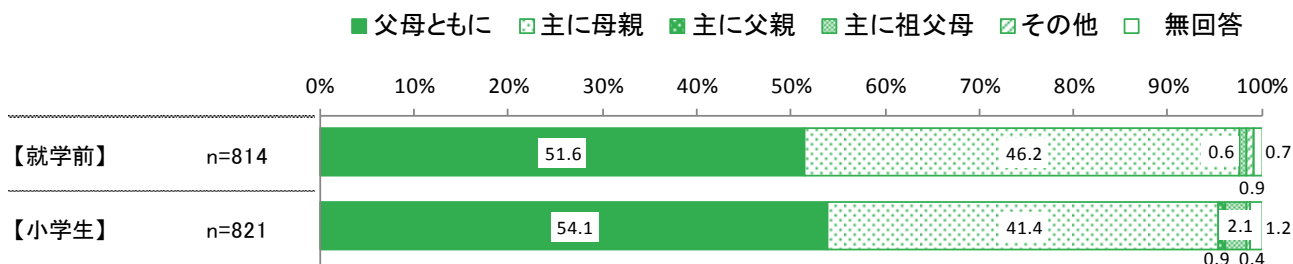
6. 子育てを行っている者

問 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。

【就学前：問6、小学生：問6】

子育てを主に行っている者について、「父母ともに」と回答した割合は就学前が51.6%、小学生が54.1%となっています。一方、「父母ともに」以外では「主に母親」が大半を占めており、就学前が46.2%、小学生が41.4%となっています。

図表 6 主に子育てを行っている者



2. 子どもの育ちをめぐる環境について

1. お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

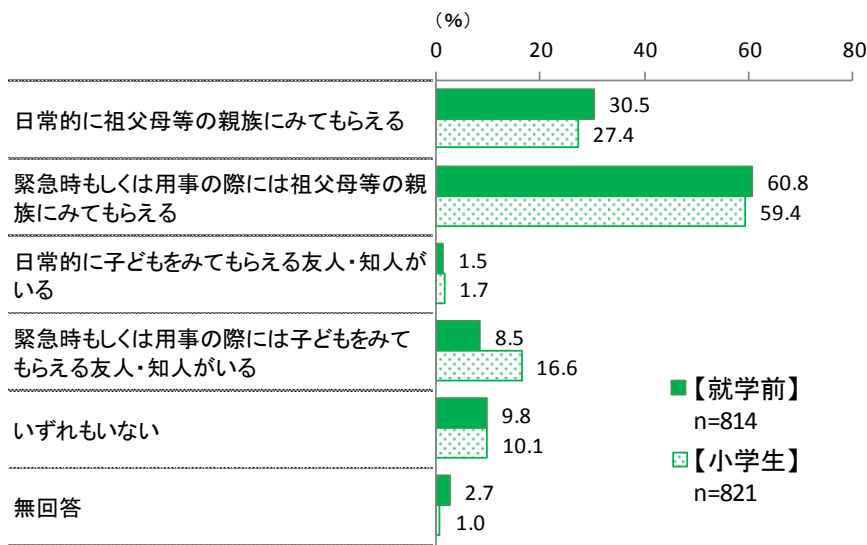
問 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(複数回答可)

【就学前：問7、小学生：問7】

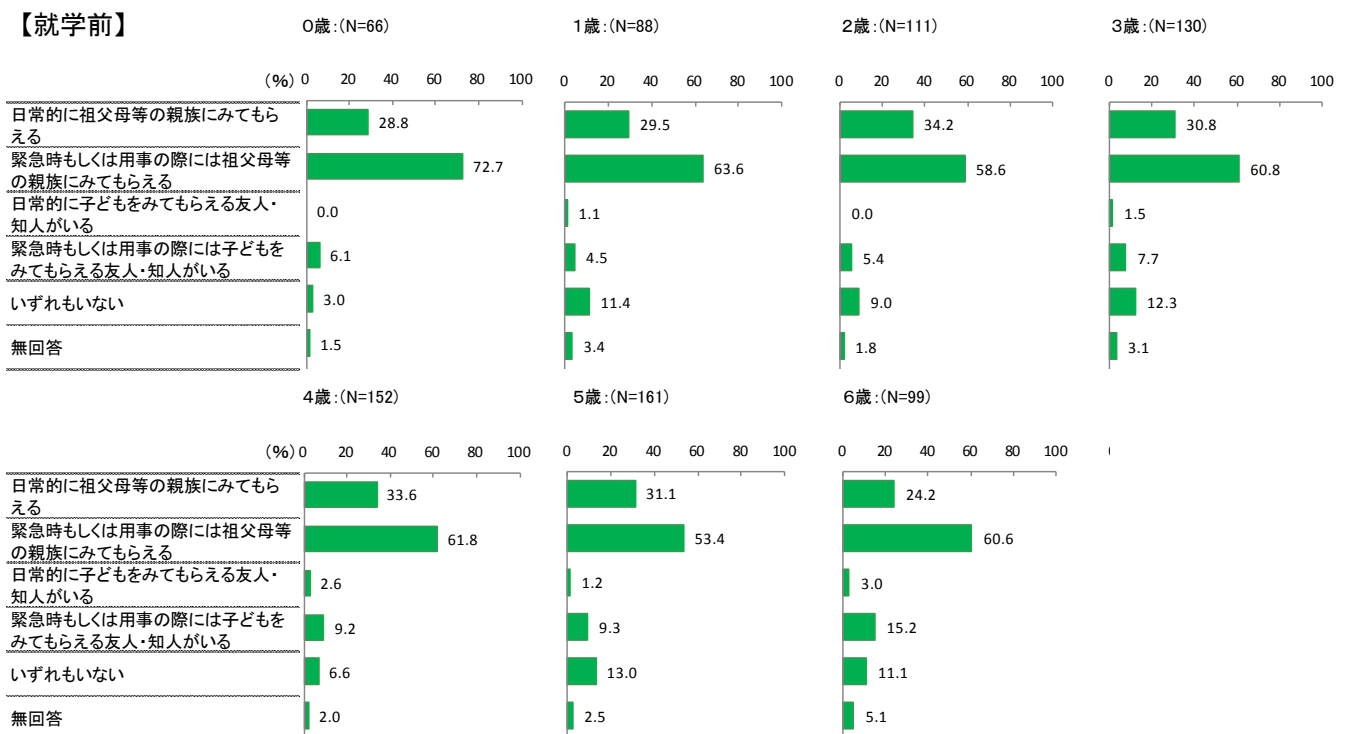
子どもをみてもらえる親族・知人の有無について、「いずれもない」と回答した割合は、就学前が 9.8%、小学生が 10.1%となっています。一方、「いずれもない」・「無回答」を除き、就学前で 87.5%、小学生で 88.9%の回答者が、“親族・知人いずれかにみてもらえる”こととなります。

年齢別（図表 8）では、就学前・小学生ともに、顕著な差はみられませんでした。

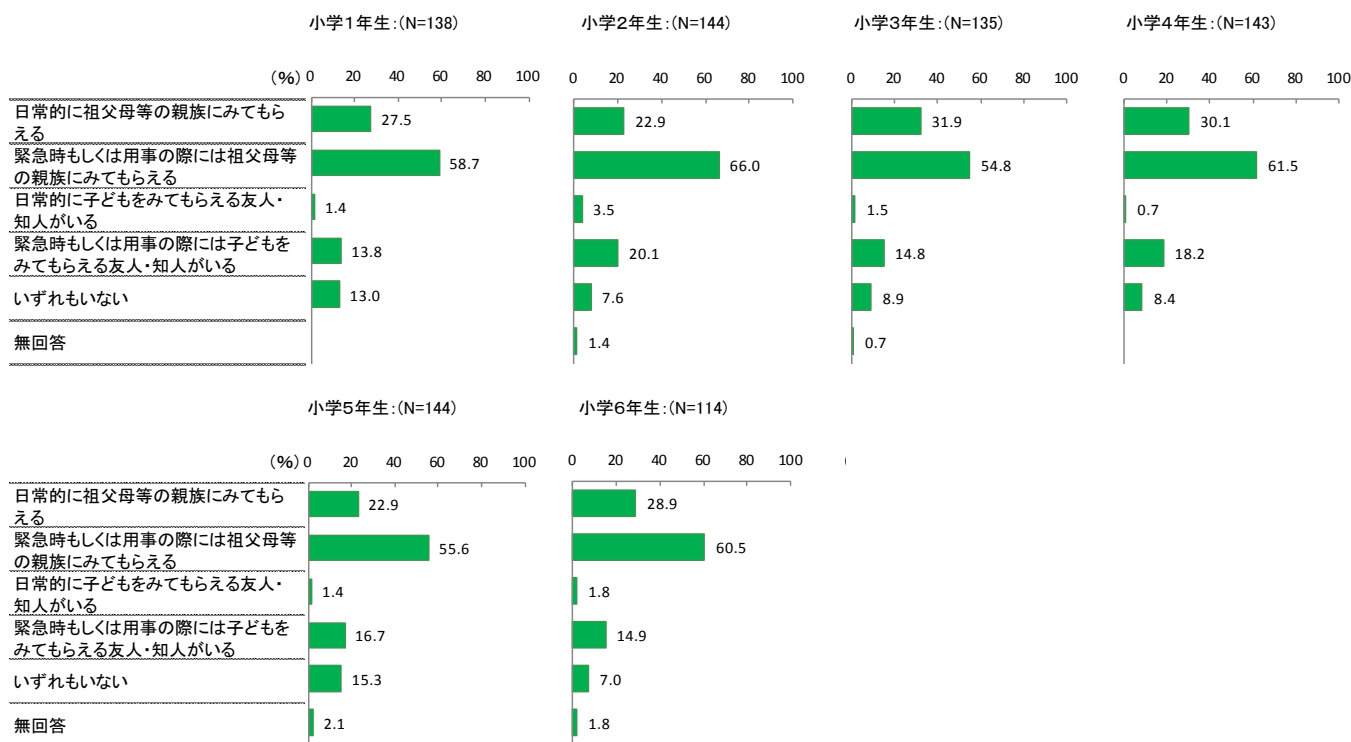
図表 7 日ごろ、子どもをみてもらえる親族・知人の有無



図表 8 日ごろ、子どもをみてもらえる親族・知人の有無×年齢



【小学生】



2. 親族にお子さんをみてもらっている状況

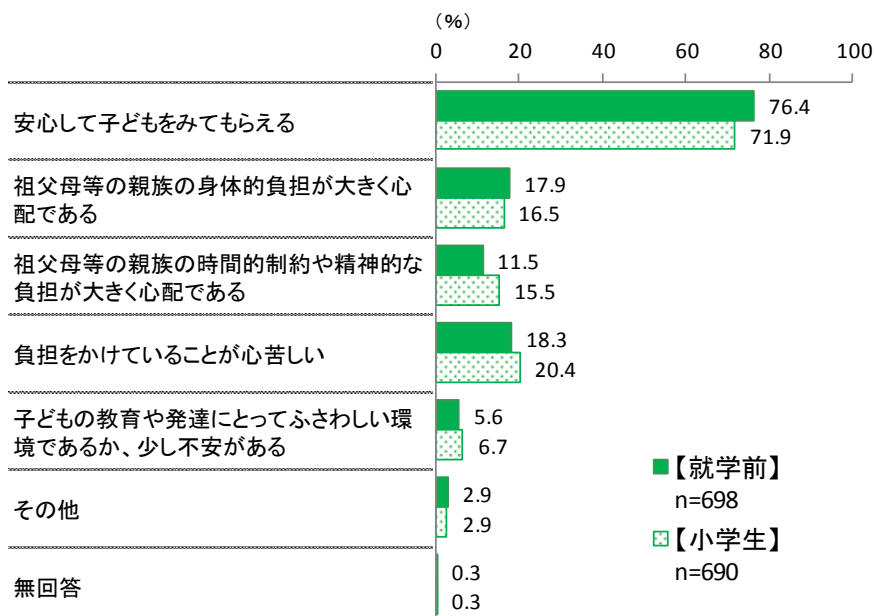
問 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(複数回答可)

【就学前：問7-1、小学生：問7-1】

※ 『1 お子さんをみてもらえる親族・知人の有無』で、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」・「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した方のみ

祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況は、就学前、小学生ともに「安心して子どもをみてもらえる」と回答した割合が最も高く、それぞれ76.4%・71.9%となっています。

図表 9 親族に子どもをみてもらっている状況



3. 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況

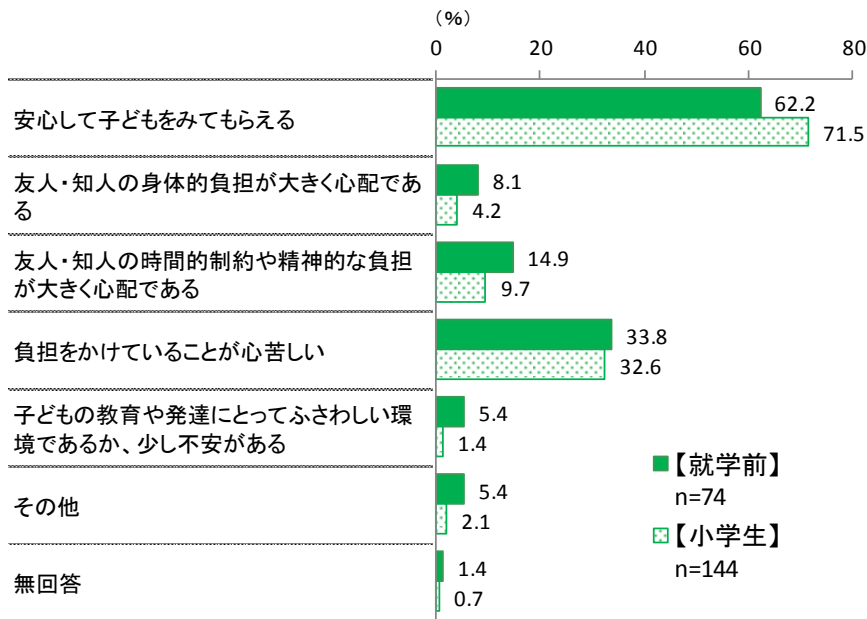
問 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（複数回答可）

【就学前：問7-2、小学生：問7-2】

※ 『1 お子さんをみてもらえる親族・知人の有無』で、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した方のみ

友人・知人に子どもをみてもらっている状況について、就学前・小学生ともに「安心して子どもをみてもらえる」と回答した割合が最も高く、それぞれ 62.2%、71.5%となっています。ただし、友人・知人にみてもらっている場合では、「負担をかけていることが心苦しい」と回答した割合が親族の場合よりも高く、就学前 33.8%、小学生 32.6%となっています。

図表 10 友人・知人に子どもをみてもらっている状況



4. 子育てに関する相談先の有無

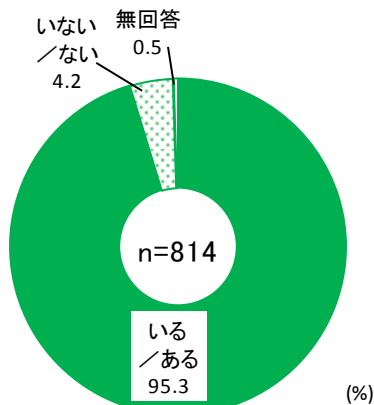
問 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

【就学前：問8、小学生：問8】

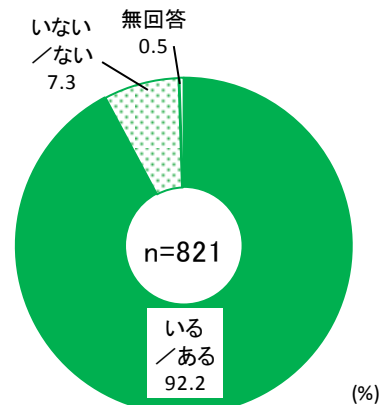
子育てに関する相談先は、「いる」と回答した割合が就学前、小学生ともに9割以上となっています。

図表 11 子育てに関する相談先の有無

【就学前】



【小学生】



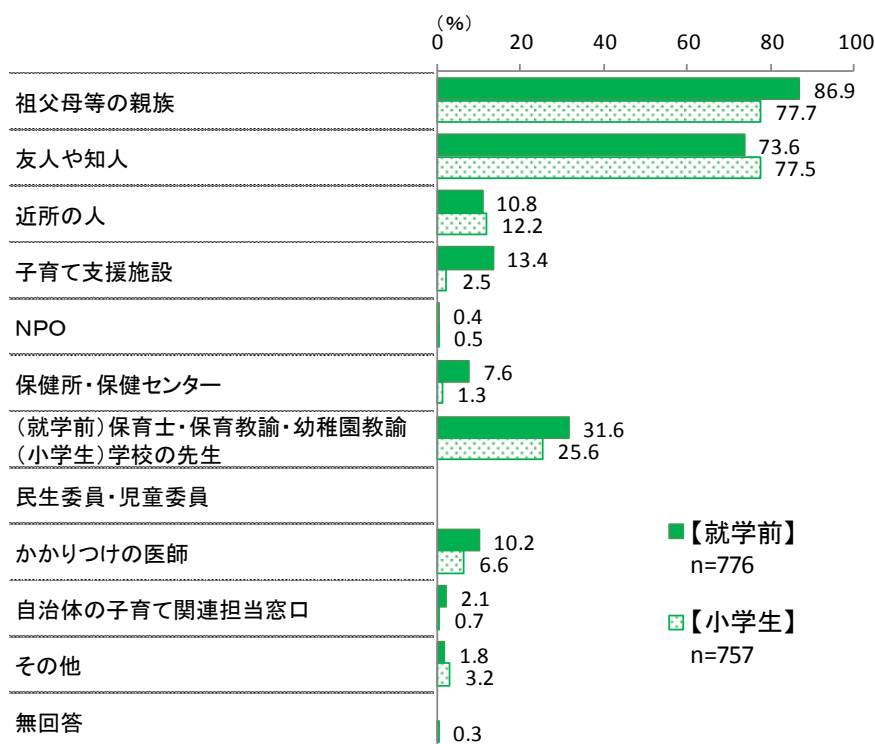
5. 相談先

問 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（複数回答可）
【就学前：問8-1、小学生：問8-1】

※ 『4 子育てに関する相談先の有無』で、「いる／ある」と回答した方のみ

子育てに関して相談できる先は、就学前・小学生ともに「祖父母等の親族」、「友人や知人」の割合が8割前後で最も高くなっています。次いで、就学前では「保育士・保育教諭・幼稚園教諭」が31.6%、小学生では「学校の先生」が25.6%となっています。その他の項目の割合は1割台以下となっています。

図表 12 子育てに関して気軽に相談できる相手



3. 保護者の就労状況について

1. 保護者の就労状況

問 保護者の方の現在の就労状況をおうかがいします。

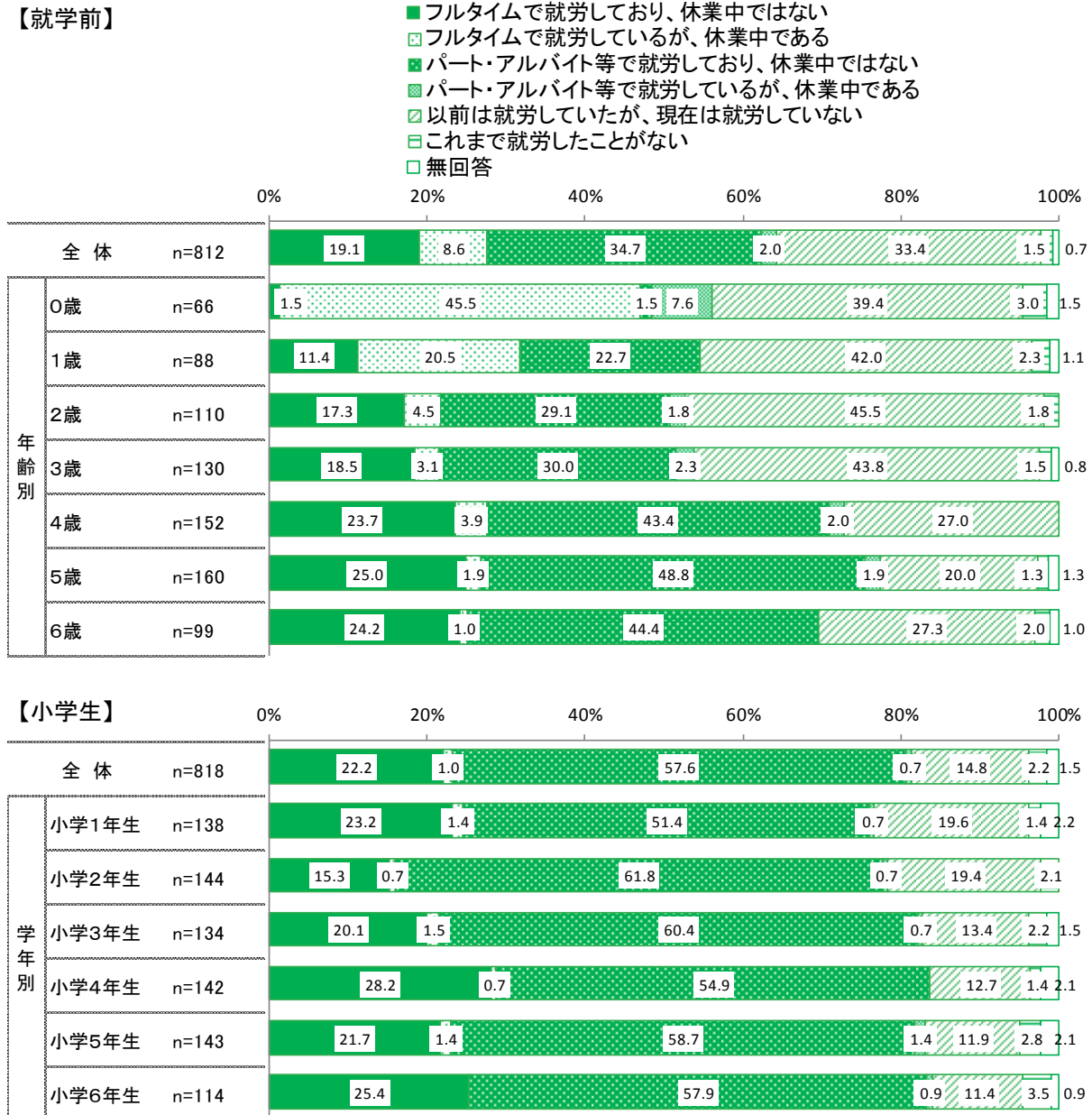
【就学前：問 10（1）、（2）、小学生：問 10（1）、（2）】

(1) 母親

現在の母親の就労状況は、“フルタイム（「フルタイムで就労しており、休業中ではない」＋「フルタイムで就労しているが、休業中である」）”と回答した割合は、就学前が 27.7%、小学生が 23.2% となっています。“パート・アルバイト（「パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない」＋「パート・アルバイト等で就労しているが、休業中である」）”と回答した割合は、就学前が 36.7%、小学生が 58.3% となっています。

年齢別にみると、就学前では子どもの年齢が上がるに従い、“パート・アルバイト”の割合が概ね高くなっています。小学生では顕著な差はみられませんでした。

図表 13 現在の保護者の就労状況×年齢別



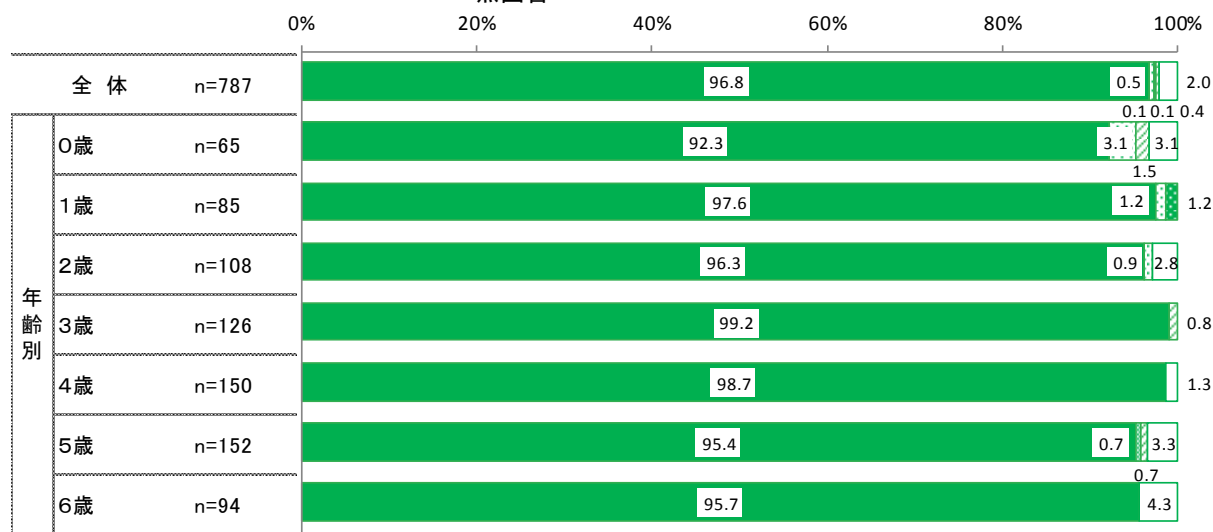
(2) 父親

現在の父親の就労状況は、“フルタイム”が就学前・小学生ともに9割以上を占めています。年齢別では、大きな差はみられませんでした。

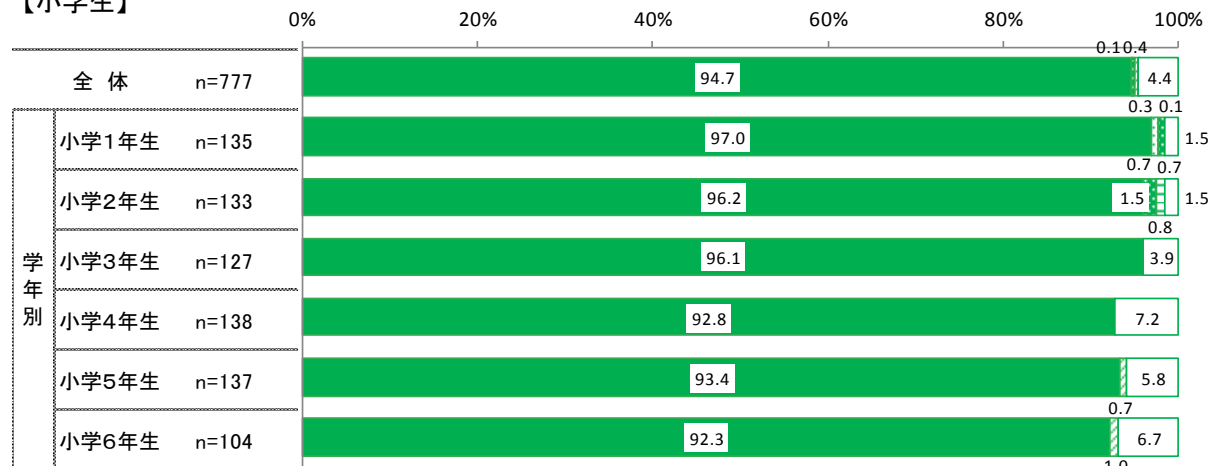
図表 14 現在の保護者の就労状況×年齢別

【就学前】

- フルタイムで就労しており、休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、休業中である
- パート・アルバイト等で就労しており、休業中ではない
- ▨ パート・アルバイト等で就労しているが、休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答



【小学生】



2. フルタイムへの転換希望

問 フルタイムへの転換希望はありますか。

【就学前：問 10-1・3、小学生：問 10-1・3】

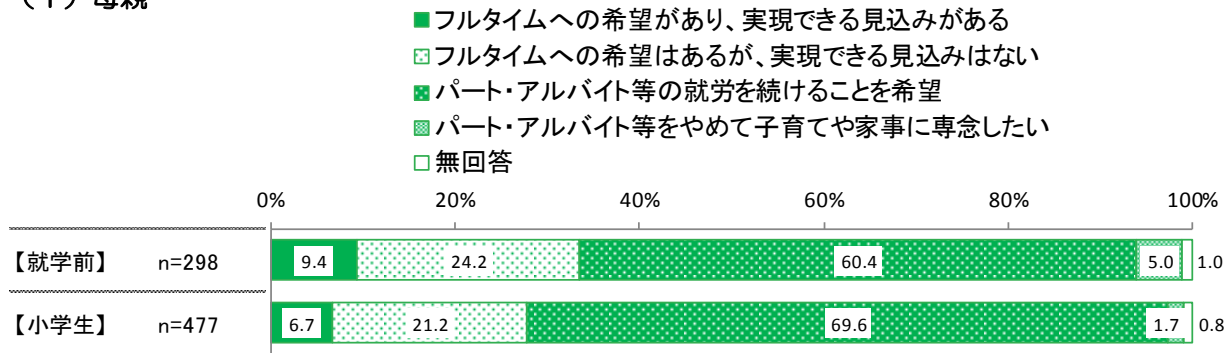
※ 『1 保護者の就労状況』で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」・「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と回答した方のみ

フルタイムへの転換希望について、母親では“フルタイムへの転換希望がある（「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」＋「フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない」）”と回答した割合が、就学前が 33.6%、小学生が 27.9%となっています。ただし、「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」と回答した割合は就学前が 9.4%、小学生が 6.7%で、ともに1割未満となっています。

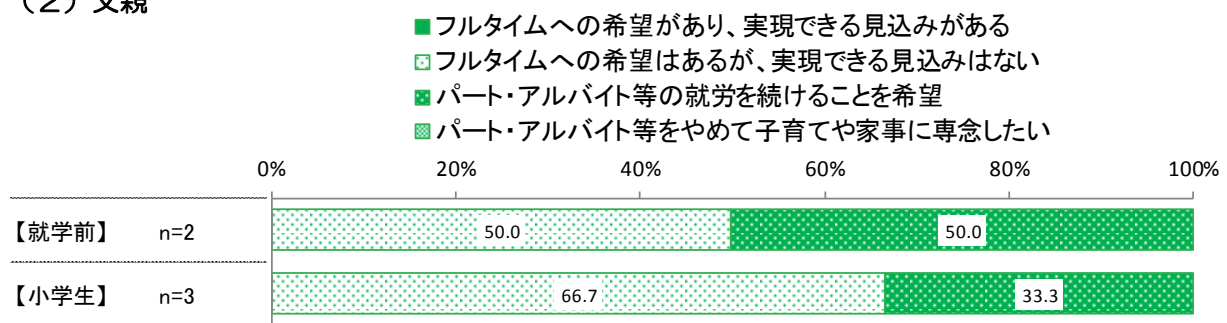
父親は該当者数が少ないため参考値です。

図表 15 フルタイムへの転換希望

(1) 母親



(2) 父親



3. 就労希望

問 就労希望はありますか。また、希望する就労形態はなんですか。

【就学前：問 10-2・4、小学生：問 10-2・4】

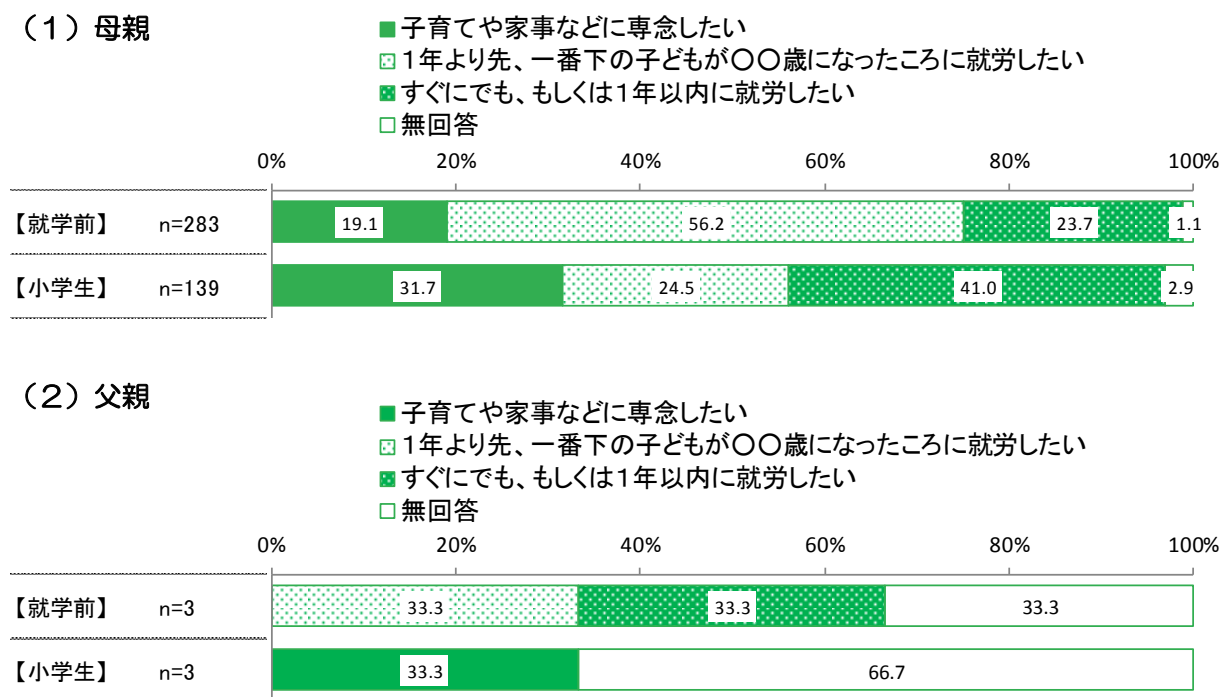
※ 『1 保護者の就労状況』で「以前は就労していたが、現在は就労していない」・「これまで就労したことがない」と回答した方のみ

<就労希望>

今後の母親の就労希望について、“就労希望がある（「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」＋「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい）」と回答した割合は、就学前が79.9%、小学生が65.5%となっています。このうち、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した割合は就学前が23.7%、小学生が41.0%となっています。

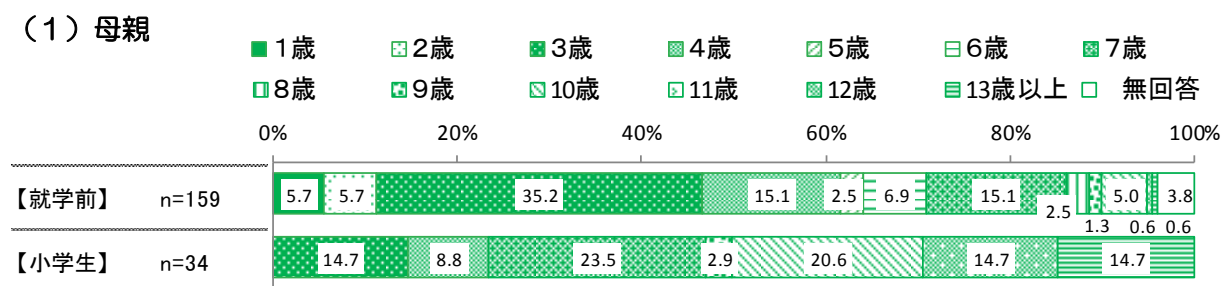
父親は該当者数が少ないため参考値です。

図表 16 就労希望



図表 17 就労したい子どもの年齢

(「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」と回答した方のみ)



<希望する就労形態>

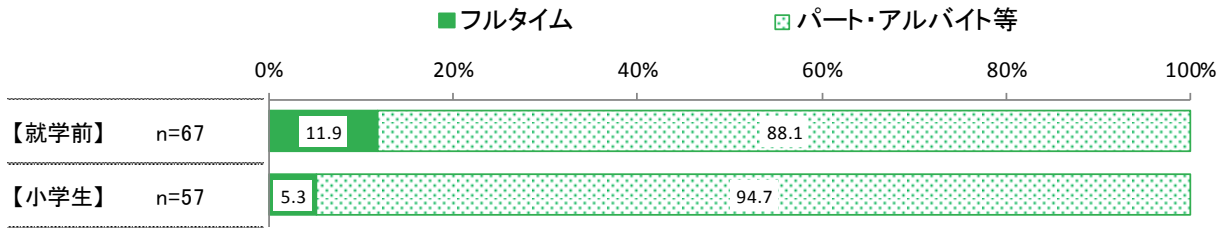
※「3 就労希望」で「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方のみ

母親が希望する就労形態について、就学前・小学生ともに9割前後が「パート・アルバイト等」と回答しています。1週あたりの就労希望日数は、就学前・小学生ともに「3日」・「4日」が合計約8割を占め、1日あたりの就労希望時間は「5時間」と回答した割合が4割台となっています。

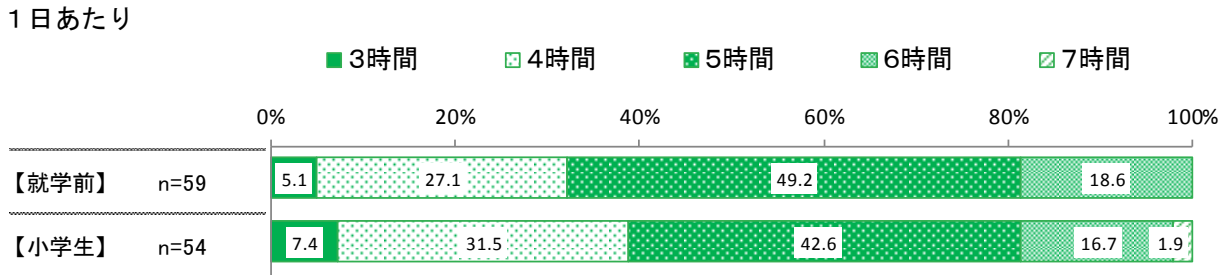
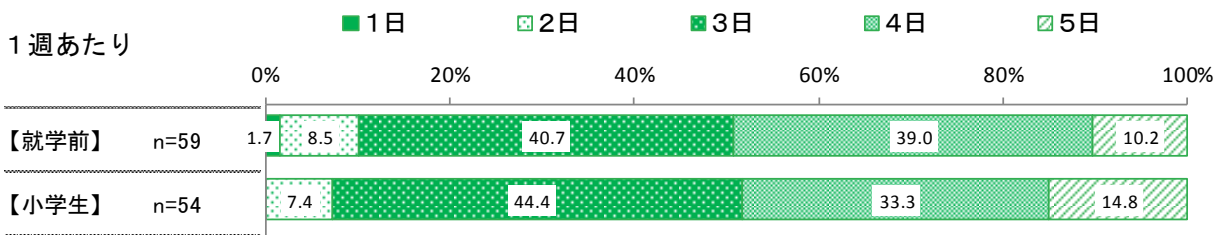
父親は該当者が就学前1人、小学生0人のため、不掲載とします。

(1) 母親

図表 18 希望する就労形態



図表 19 希望する就労日数・時間



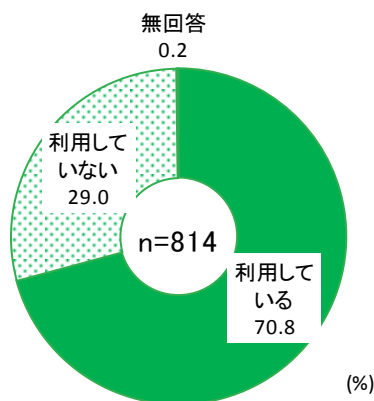
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

1. 定期的な教育・保育事業の利用有無

問 お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。
【就学前：問 11】

定期的な教育・保育事業の利用有無について、「利用している」と回答した割合は70.8%、「利用していない」と回答した割合は29.0%となっています。

図表 20 現在の教育・保育事業の利用有無



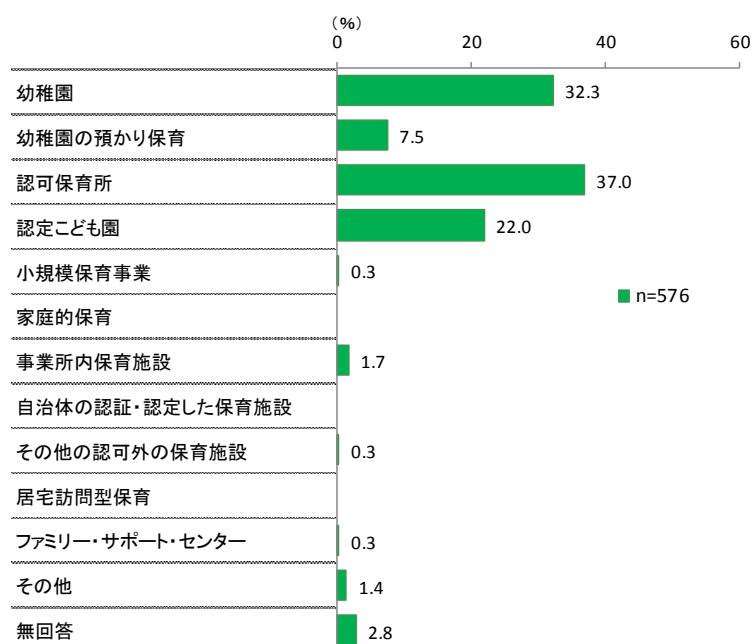
2. 利用している教育・保育事業

問 お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。(複数回答可)
【就学前：問 11-1】

※ 『1 定期的な教育・保育事業の利用有無』で「利用している」と回答した方のみ

利用している教育・保育事業について、「認可保育所」と回答した割合が37.0%、「幼稚園」が32.3%、「認定こども園」が22.0%となっています。次いで「幼稚園の預かり保育」が7.5%となっており、それ以外の事業については、いずれも1割未満となっています。

図表 21 利用している教育・保育事業



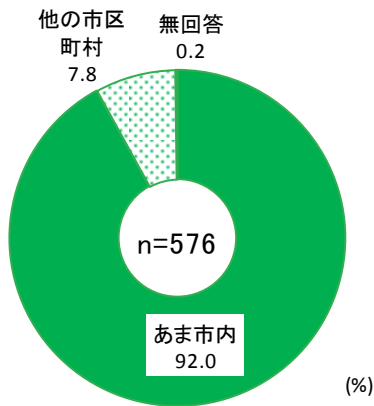
3. 教育・保育事業の実施場所

問 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。 【就学前：問 11-3】

※ 『1 定期的な教育・保育事業の利用有無』で「利用している」と回答した方のみ

利用している教育・保育事業の実施場所は、「あま市内」と回答した割合が 92.0%を占めています。「他の市区町村」は 7.8%となっています。

図表 22 教育・保育事業の実施場所



4. 教育・保育事業を利用している理由

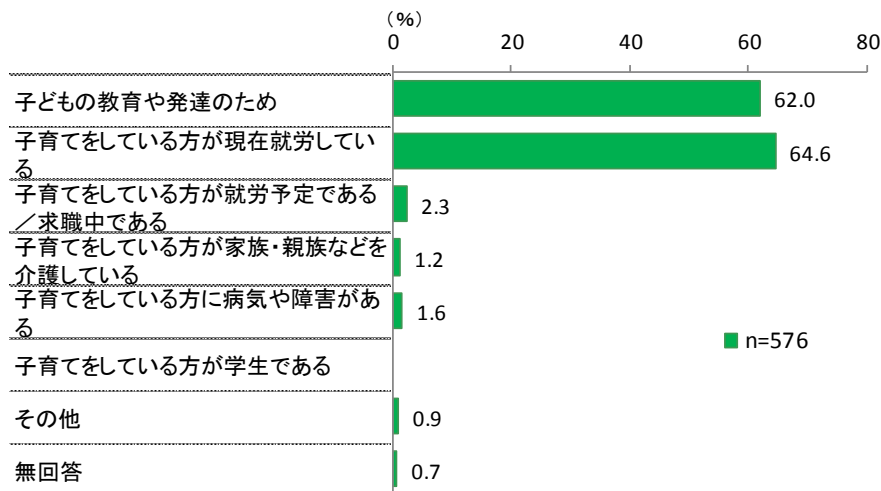
問 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は何ですか。(複数回答可)

【就学前：問 11-5】

※ 『1 定期的な教育・保育事業の利用有無』で「利用している」と回答した方のみ

平日に定期的に教育・保育事業を利用している理由は、「子育てをしている方が現在就労している」と回答した割合が 64.6%で最も高く、次いで大きな差がなく「子どもの教育や発達のため」が 62.0%と高くなっています。

図表 23 教育・保育事業を利用している理由



5. 教育・保育事業を利用していない理由

問 定期的な教育・保育の事業を利用していない理由は何ですか。(複数回答可)

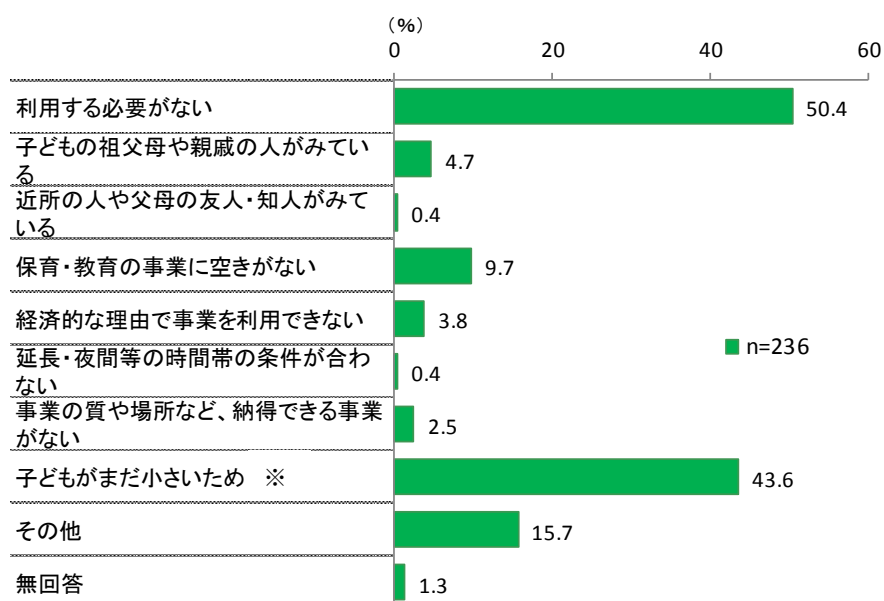
【就学前：問 11-6】

※『1 定期的な教育・保育事業の利用有無』で「利用していない」と回答した方のみ

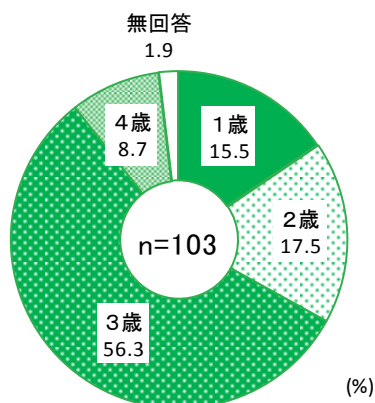
定期的な教育・保育の事業を利用していない理由は、「利用する必要がない」が 50.4%で最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため」(43.6%)が高くなっています。

また、「子どもがまだ小さいため」の回答者が利用する目安と考えている子どもの年齢は、「3歳」が 56.3%で最も高くなっています。

図表 24 教育・保育事業を利用していない理由



図表 25 利用する目安と考えている子どもの年齢 (※「子どもがまだ小さいため」と回答した方)



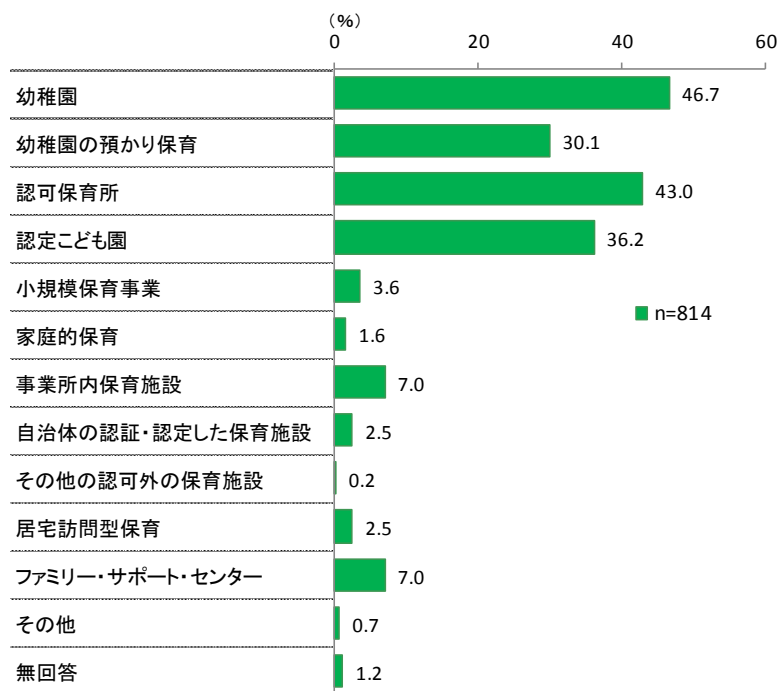
6. 定期的な教育・保育事業の利用希望

問 現在の利用有無にかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（複数回答可） 【就学前：問 12】

定期的な教育・保育事業の利用希望は、「幼稚園」（46.7%）が最も高く、次いで「認可保育所」（43.0%）、「認定こども園」（36.2%）、「幼稚園の預かり保育」（30.1%）の順となっています。

年齢別（図表 24）では、顕著な差はみられませんでした。

図表 26 定期的な教育・保育事業の利用希望



図表 27 定期的な教育・保育事業の利用希望×年齢別



5. 放課後児童クラブの利用状況と利用希望について

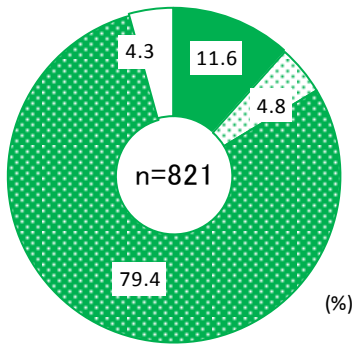
1. 放課後児童クラブの利用状況

問 お子さんは現在、児童クラブ・学童保育クラブを利用していますか。 【小学生：問 11】

放課後児童クラブの利用状況について、平日に“利用している（「週4日以上利用している」＋「週1～3日利用している」）”と回答した割合は16.4%となっています。一方、土曜日では“利用している（「ほぼ毎週利用している」＋「月1～2日利用している」）”と回答した割合は3.0%と低くなっています。

(1) 平日

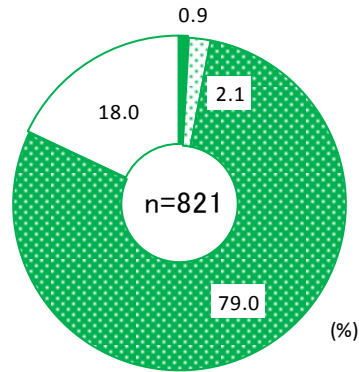
図表 28 放課後児童クラブの利用状況



- 週4日以上利用している
- ▨ 週1～3日利用している
- 利用していない
- 無回答

(2) 土曜日

図表 29 放課後児童クラブの利用状況



- ほぼ毎週利用している
- ▨ 月1～2日利用している
- 利用していない
- 無回答

2. 放課後児童クラブを利用していない理由

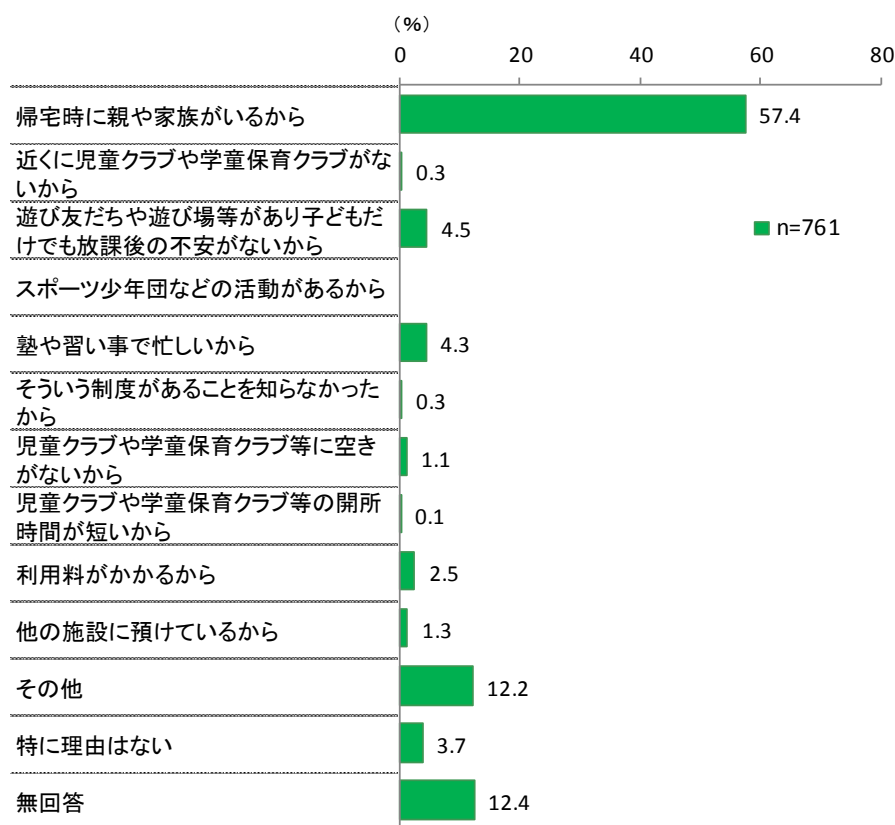
問 児童クラブ・学童保育クラブを利用していない理由は何ですか。

【小学生：問 11-1】

※ 『1 放課後児童クラブの利用状況』で平日・土曜日に「利用していない」と回答した方のみ

放課後児童クラブを利用していない理由について、「帰宅時に親や家族がいるから」と回答した割合が 57.4%で最も高く、その他の理由はいずれも 1 割未満となっています。

図表 30 放課後児童クラブを利用していない理由



3. 放課後児童クラブへの評価

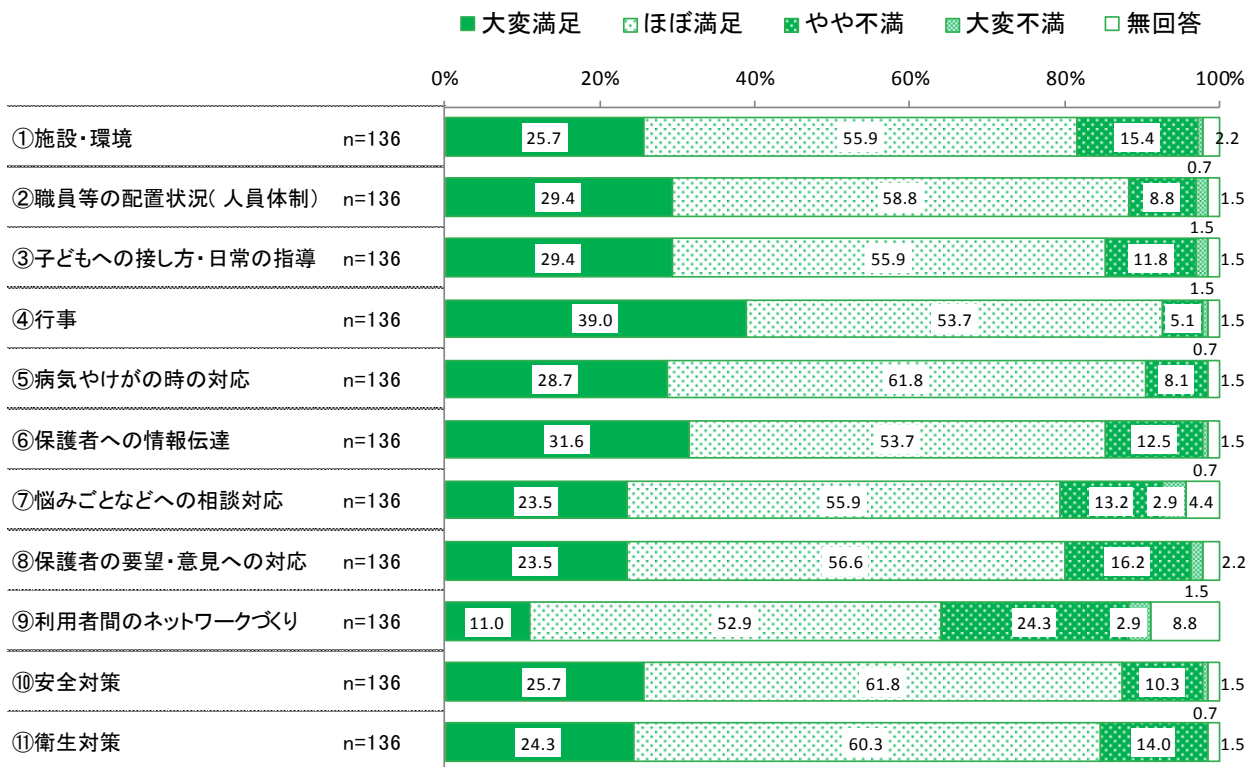
問 児童クラブ・学童保育クラブに対してどのように感じていますか。

【小学生：問 11-2】

※ 『1 放課後児童クラブの利用状況』で平日・土曜日に「利用している」と回答した方のみ

放課後児童クラブへの評価について、“満足（「大変満足」＋「ほぼ満足」）”と回答した割合は、いずれの項目も概ね8割以上を占めていますが、「利用者間のネットワークづくり」では63.9%と他の項目よりも低くなっています。

図表 31 放課後児童クラブへの評価



4. 放課後児童クラブの利用希望

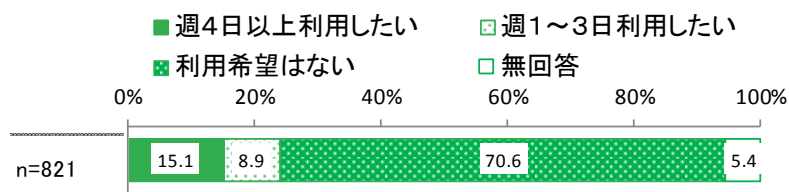
問 お子さんについて、児童クラブ・学童保育クラブの利用希望が現在ありますか。

【小学生：問 12】

放課後児童クラブの利用希望について、“利用したい（「週4日以上利用したい／ほぼ毎週利用したい」＋「週1～3日利用したい／月1～2日利用したい」）”と回答した割合は、平日で24.0%、土曜日で9.5%、日曜日で4.9%、長期の休みで44.4%となっています。

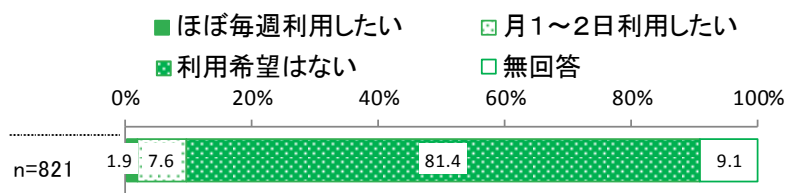
（1）平日

図表 32 放課後児童クラブの利用希望



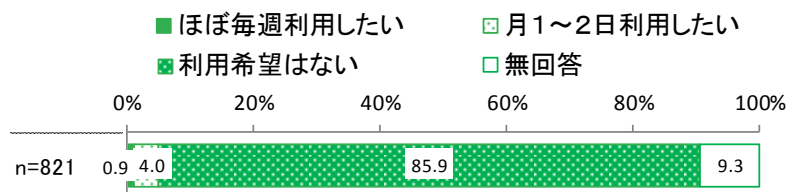
（2）土曜日

図表 33 放課後児童クラブの利用希望



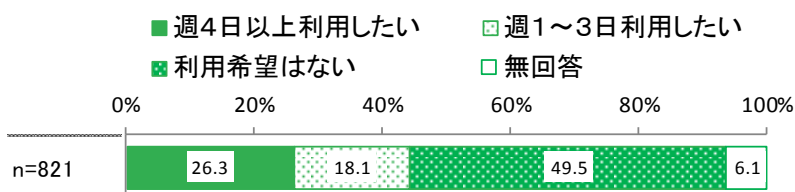
（3）日曜日

図表 34 放課後児童クラブの利用希望



（4）長期の休み

図表 35 放課後児童クラブの利用希望



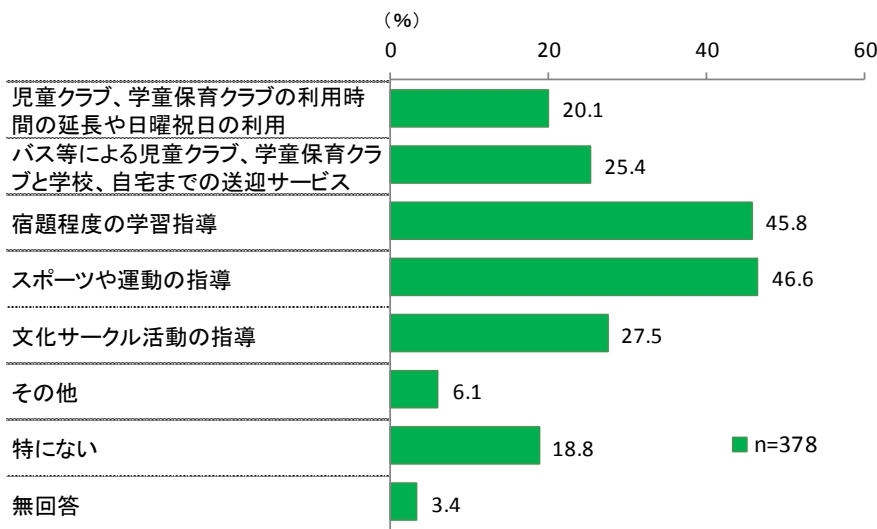
5. 放課後の活動として利用を希望する事業

問 児童の放課後の活動として、費用を負担しても実施を希望する事業がありますか。(複数回答可) 【小学生：問 13】

※ 『4 放課後児童クラブの利用希望』で平日・土曜日・日曜日・長期の休みに「利用したい」と回答した方のみ

放課後の活動として利用を希望する事業は、「スポーツや運動の指導」(46.6%)、「宿題程度の学習指導」(45.8%)の割合が高くなっています。

図表 36 放課後の活動として利用を希望する事業



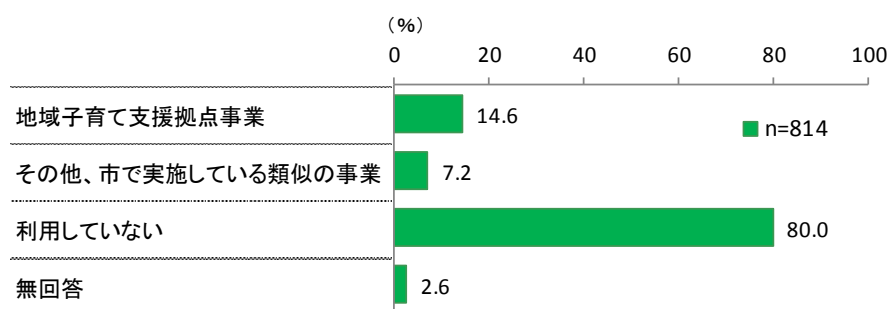
6. 地域の子育て支援事業の利用状況について

1. 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（「つどいの広場」、「子育て支援センター」）を利用していますか。（複数回答可） 【就学前：問 13】

「地域子育て支援拠点事業」を利用していると回答した割合は 14.6%、「その他、市で実施している類似の事業」は 7.2%となっています。一方、「利用していない」と回答した割合は 80.0%となっています。

図表 37 地域子育て支援拠点事業の利用状況

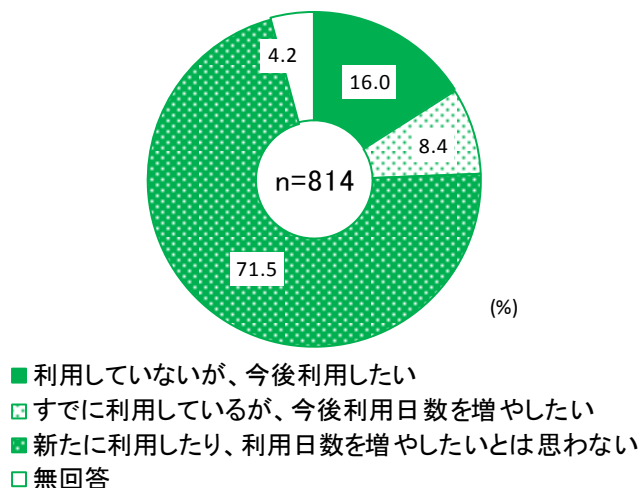


2. 地域子育て支援拠点事業の利用希望

問 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。 【就学前：問 14】

地域子育て支援拠点事業の利用希望について、「利用していないが、今後利用したい」と回答した割合は 16.0%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は 8.4%、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」は 71.5%となっています。

図表 38 地域子育て支援拠点事業の利用希望



3. 子育て支援事業の認知度・利用状況・利用希望

問 次の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものはありますか。 【就学前：問 15、小学生：問 18】

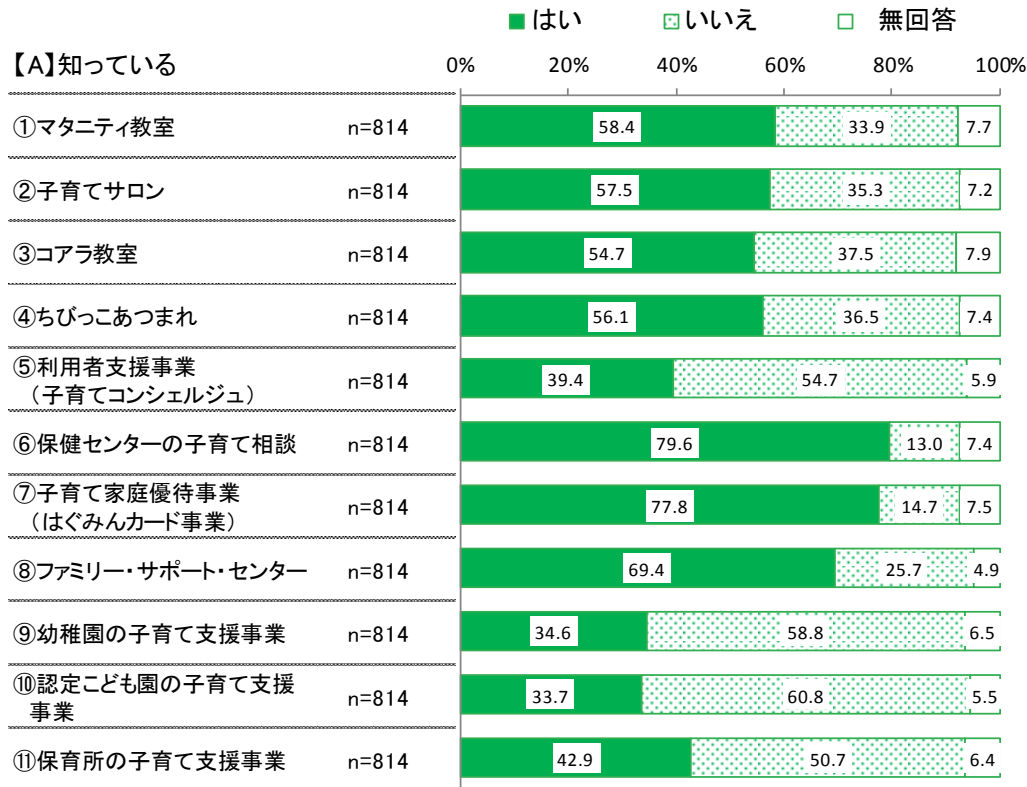
<就学前>

就学前の子育て支援事業の認知度については、「はい」と回答した割合は「保健センターの子育て相談」(79.6%)、「子育て家庭優待事業(はぐみんカード事業)」(77.8%)で約8割と高くなっています。一方、「利用者支援事業(子育てコンシェルジュ)」、「幼稚園の子育て支援事業」、「認定こども園の子育て支援事業」では4割未満となっています。

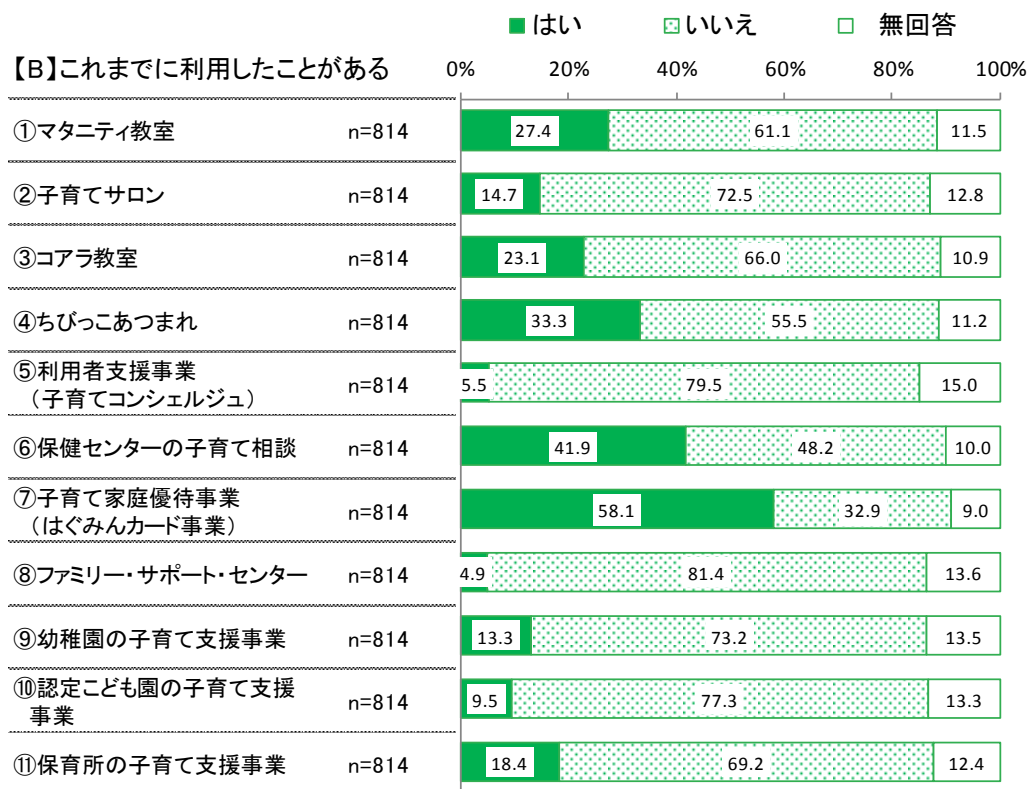
利用状況(図表36)では、「はい」の割合が最も高いのは「子育て家庭優待事業」で58.1%、最も低いのは「ファミリー・サポート・センター」で4.9%となっています。

利用希望(図表37)では、「はい」の割合が最も高いのは「子育て家庭優待事業」で65.6%、次いで「保健センターの子育て相談」で40.3%となっています。

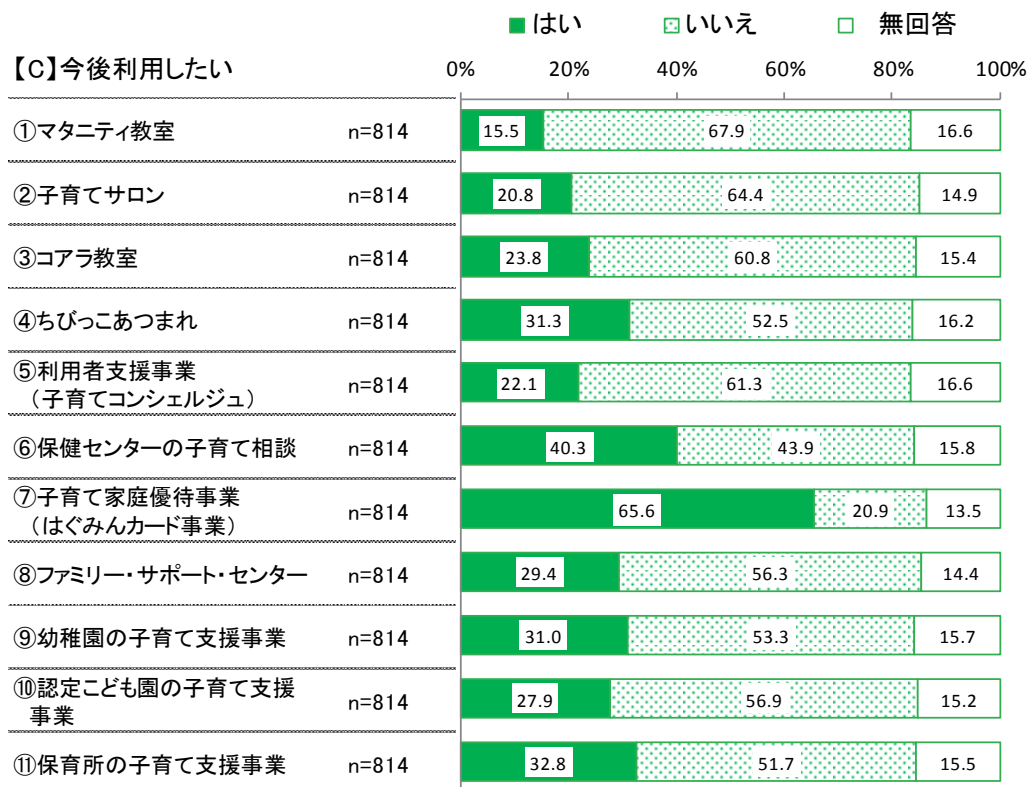
図表 39 子育て支援事業の認知



図表 40 子育て支援事業の利用状況



図表 41 子育て支援事業の利用希望



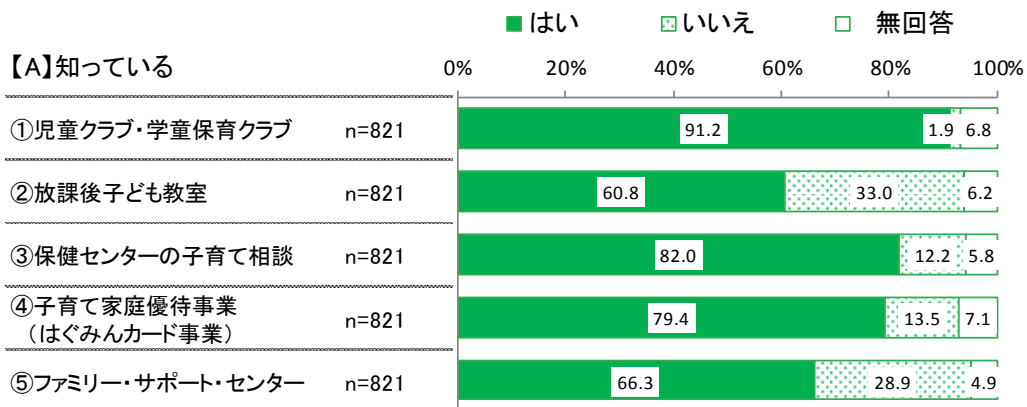
<小学生>

小学生の子育て支援事業の認知については、「はい」と回答した割合はすべての項目で6割以上となっています。特に「児童クラブ・学童保育クラブ」は91.2%と高くなっています。

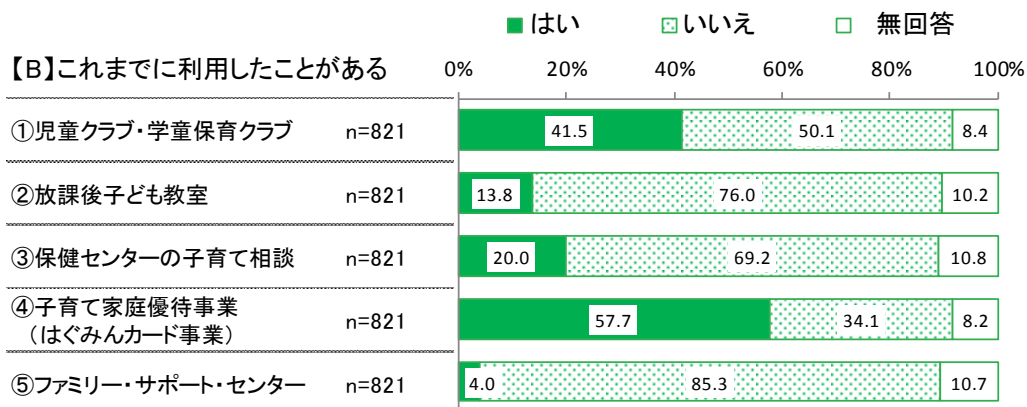
利用状況では、「子育て家庭優待事業」の割合が57.7%で最も高くなっています。

利用希望についても、「子育て家庭優待事業」の割合が63.1%で最も高くなっています。

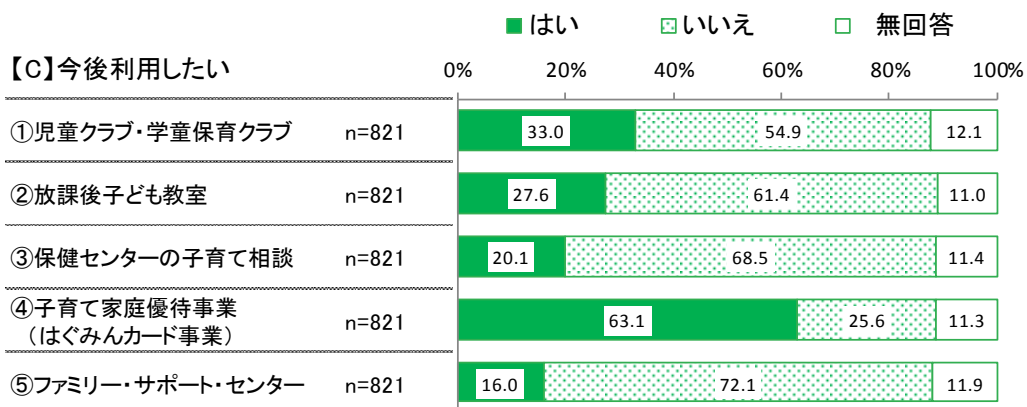
図表 42 子育て支援事業の認知



図表 43 子育て支援事業の利用状況



図表 44 子育て支援事業の利用希望



7. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

1. 土・日・祝日の教育・保育事業の利用希望

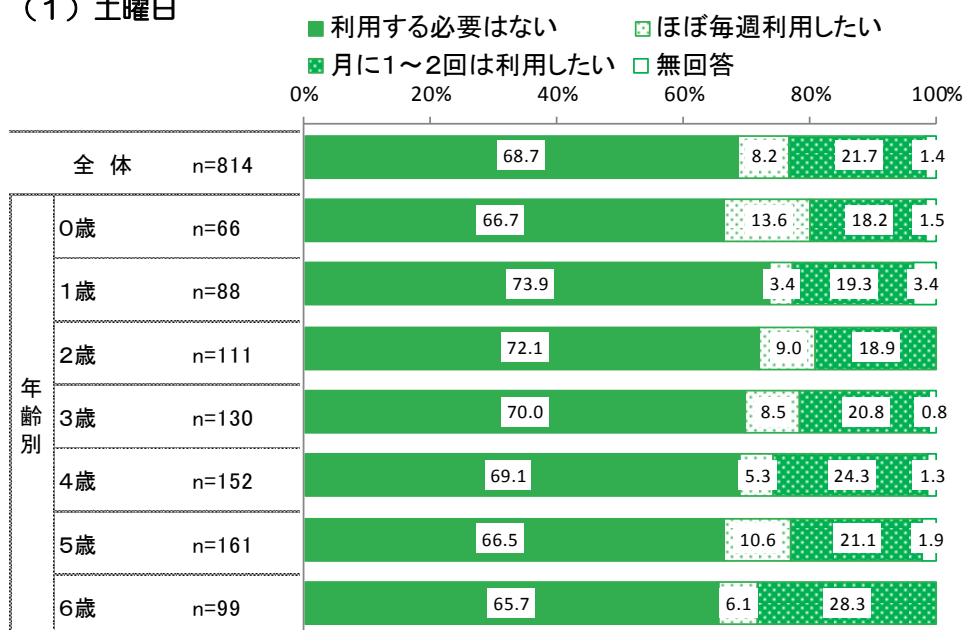
問 土曜日・日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。

【就学前：問 16】

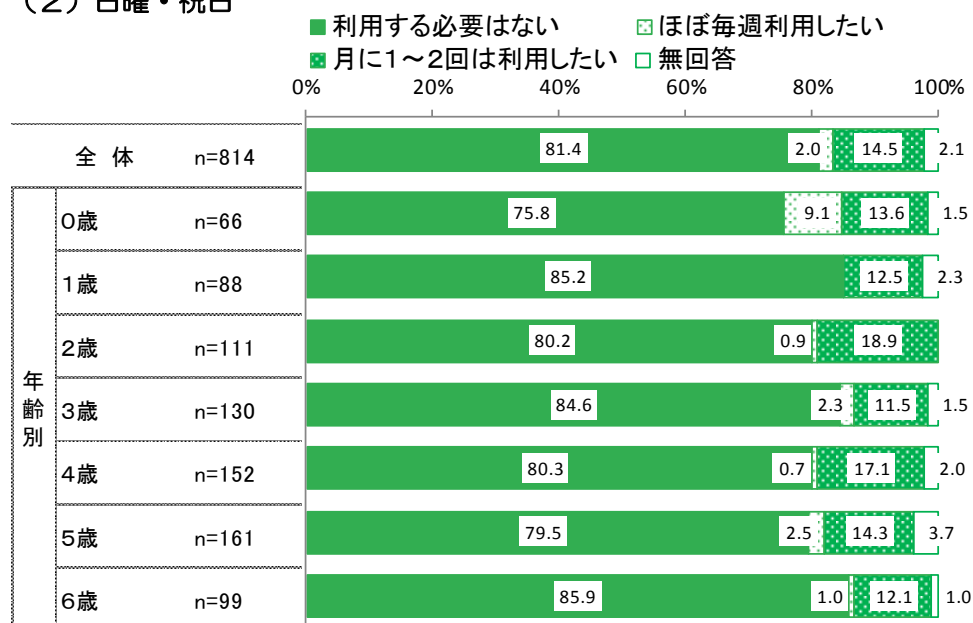
土・日・祝日の教育・保育事業の利用希望について、土曜日に“利用したい（「ほぼ毎週利用したい」＋「月に1～2回は利用したい）」と回答した割合は29.9%となっています。一方、日曜日・祝日に“利用したい”と回答した割合は16.5%となっています。

図表 45 教育・保育事業の利用希望

(1) 土曜日



(2) 日曜・祝日



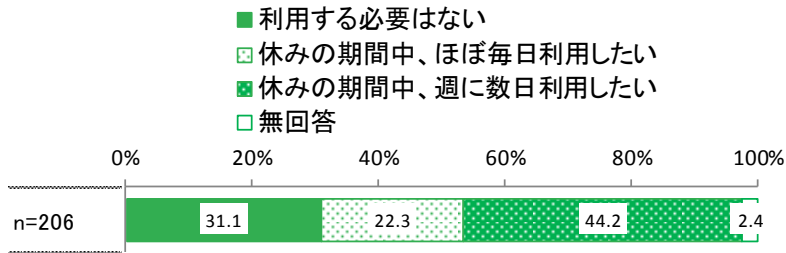
2. 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

問 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。
【就学前：問 17】

※ 『幼稚園』を利用している方のみ回答

長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望について、“利用したい（「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」＋「休みの期間中、週に数日利用したい）」と回答した割合は66.5%となっています。

図表 46 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望



8. 病気の際の対応について

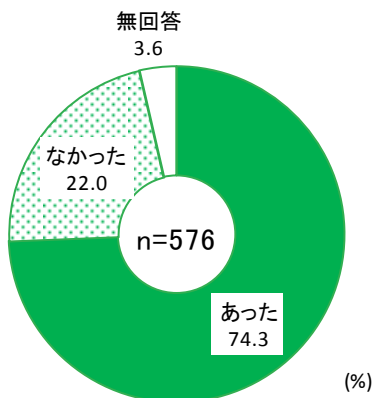
1. 病気で教育・保育事業が利用できなかったことの有無

問 この1年間に、お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。
【就学前：問 18】

※ 『4-1 定期的な教育・保育事業の利用有無』で「利用している」と回答した方のみ

子どもの病気やケガにより教育・保育の事業が利用できなかった経験について、「あった」と回答した割合は74.3%となっています。

図表 47 病気で教育・保育事業が利用できなかったことの有無



2. 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法

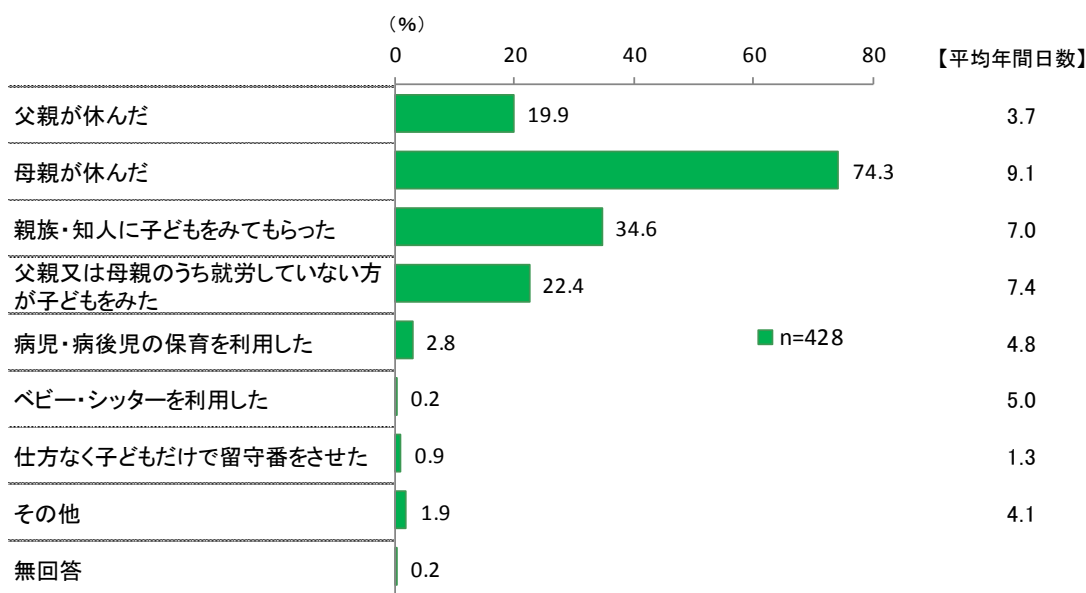
問 この1年間に、病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法は何か。（複数回答可） また、その日数は概ね何日ですか。【就学前：問 18-1】

※ 『1 病気で教育・保育事業が利用できなかったことの有無』で「あった」と回答した方のみ

子どもの病気・ケガにより教育・保育事業が利用できなかった際の対処方法は、「母親が休んだ」と回答した割合が74.3%で最も高く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」（34.6%）、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」（22.4%）となっています。

年間日数の平均は、「母親が休んだ」が9.1日、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が7.4日、「親族・知人に子どもをみてもらった」が7.0日となっています。

図表 48 病気等で教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法と年間日数



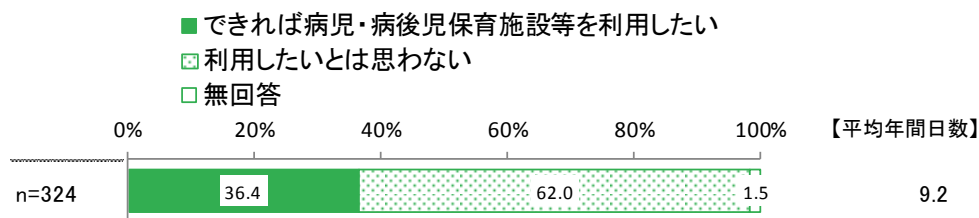
3. 病児・病後児保育施設等の利用希望

問 病気やケガにより教育・保育事業が利用できず、父親または母親が休んだ際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。また、その場合の日数はどれくらいありますか。【就学前：問 18-2】

※ 『2 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法』で、「父親が休んだ」・「母親が休んだ」と回答した方のみ

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した割合は36.4%となっています。また、年間日数の平均は、9.2日となっています。

図表 49 病児・病後児保育施設等の利用希望

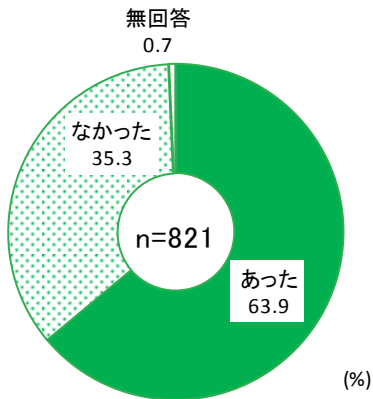


4. 病気で小学校に登校できなかったことの有無

問 この1年間に、あて名のお子さんが病気で学校を休まなければならなかったことはありましたか。 【小学生：問 14】

子どもが病気で小学校に登校できなかったことが「あった」と回答した割合は 63.9%、「なかった」と回答した割合は 35.3%となっています。

図表 50 病気で小学校に登校できなかったことの有無



5. 小学校に登校できなかった際の対処方法

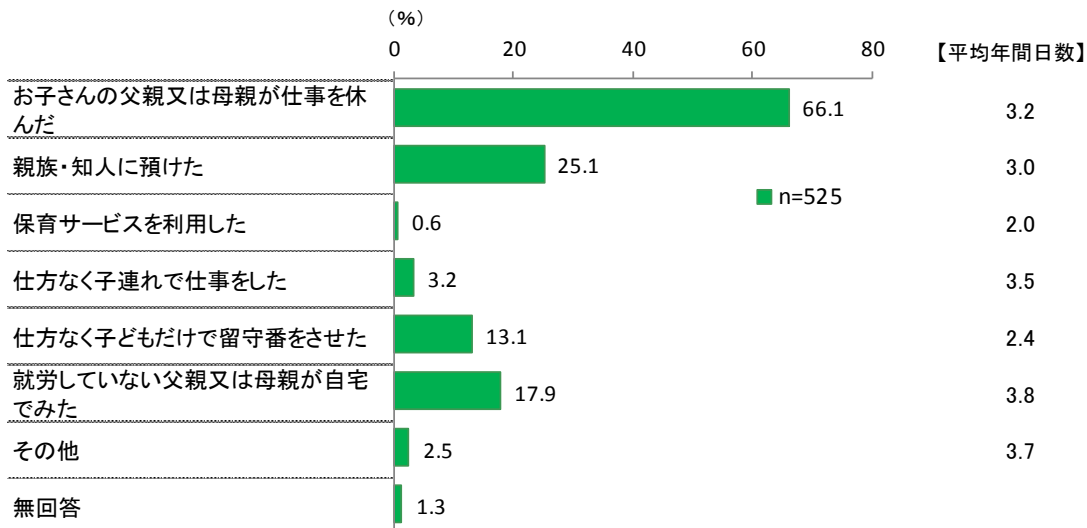
問 小学校に登校できなかった際の対処方法とそれぞれの日数（複数回答可） 【小学生：問 14-1】

※ 『4 病気で小学校に登校できなかったことの有無』で、「あった」と回答した方のみ

小学校に登校できなかった際の対処方法については、「お子さんの父親又は母親が仕事を休んだ」と回答した割合が 66.1%となっています。

年間日数の平均は、いずれの対処方法についても 3 日前後となっています。

図表 51 小学校に登校できなかった際の対処方法と年間日数



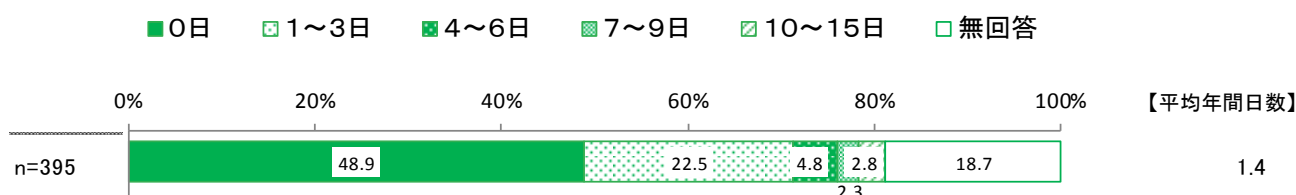
6. 施設等に預けたいと思った日数

問 父母が休んだ、または親族・知人に預けた際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。 【小学生：問 14-4】

※ 『5 小学校に登校できなかった際の対処方法』で「父親又は母親が仕事を休んだ」・「親族・知人に預けた」と回答した方のみ

父母が休んだ際に、施設等に預けたいと思った日数について、「0日」と回答した割合が48.9%で最も高く、次いで、「1～3日」が22.5%となっています。平均日数は1.4日となっています。

図表 52 施設等に預けたいと思った日数



9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

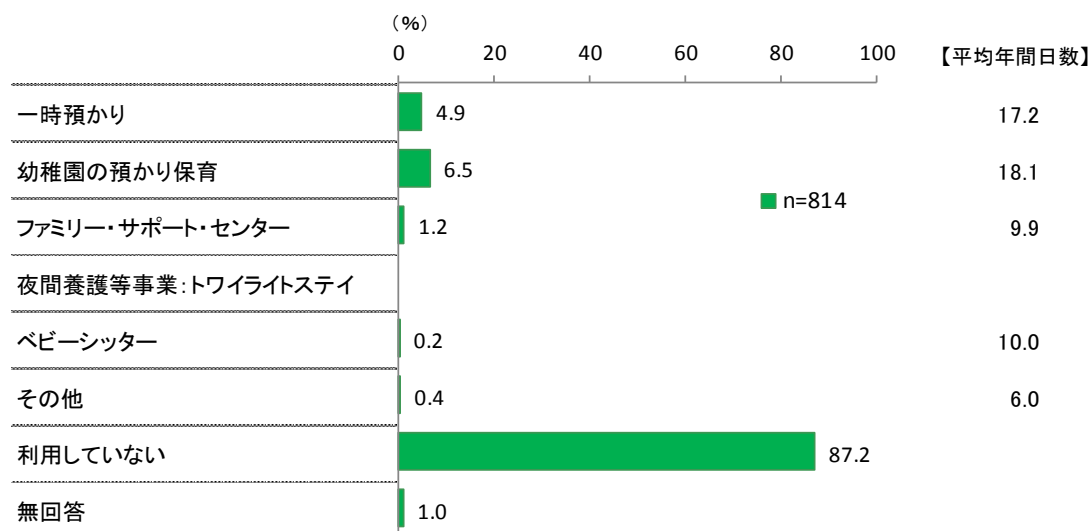
1. 不定期に利用している教育・保育事業の有無

問 この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(複数回答可) また、その日数は概ね何日ですか。 【就学前：問 19】

不定期に利用している教育・保育事業について、「利用していない」が87.2%で最も高くなっています。事業の中では、「幼稚園の預かり保育」が6.5%、「一時預かり」が4.9%となっています。

年間日数の平均は、「幼稚園の預かり保育」が18.1日、「一時預かり」が17.2日となっています。

図表 53 不定期に利用している教育・保育事業と年間日数



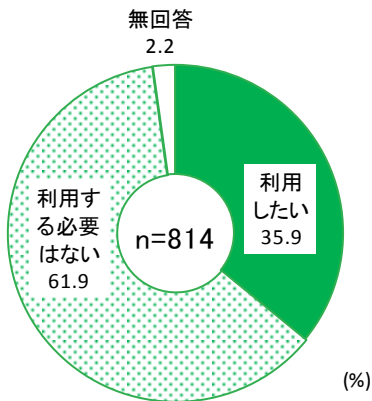
2. 不特定の教育・保育事業の利用希望

問 私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定の教育・保育事業を利用する必要があると思いますか。 また、その目的は何ですか。（複数回答可） 必要な日数は概ね何日ですか。
【就学前：問 20】

<利用希望>

不特定の教育・保育事業について、「利用したい」と回答した割合が 35.9%、「利用する必要はない」と回答した割合が 61.9%となっています。

図表 54 不特定の教育・保育事業の利用希望



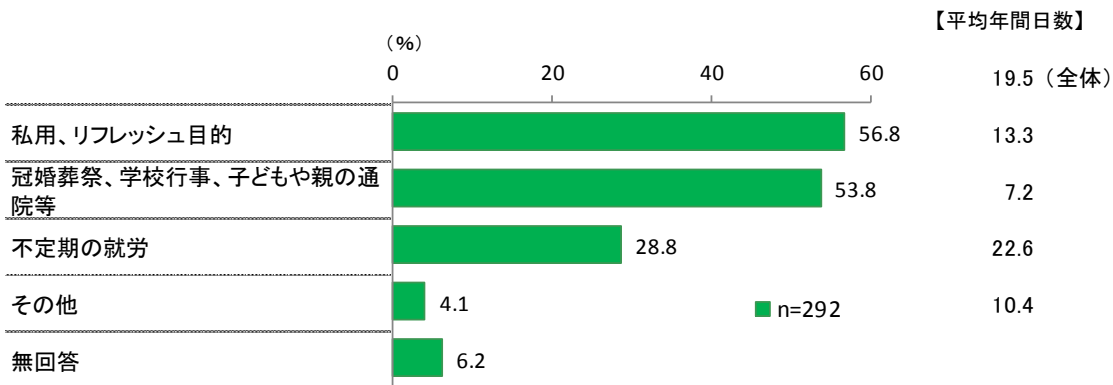
<利用目的>

※『不特定の教育・保育事業の利用希望』で、「利用したい」と回答した方のみ

不特定の事業の利用目的については、「私用、リフレッシュ目的」（56.8%）、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（53.8%）がともに5割以上と高くなっています。

年間日数の平均は、利用したい人全体では 19.5 日、「私用、リフレッシュ目的」が 13.3 日、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が 7.2 日、「不特定の就労」が 22.6 日となっています。

図表 55 不特定の事業の利用目的と年間日数



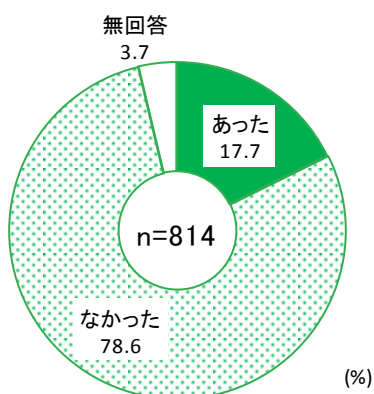
3. 泊りがけで家族以外がみる必要性の有無

問 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。また、その対処方法は何か。（複数回答可） その日数は概ね何日ですか。 【就学前：問 21】

<泊りがけで家族以外がみる必要性の有無>

泊りがけで子どもを家族以外がみる必要性の有無について、「あった」と回答した割合は17.7%、「なかった」と回答した割合は78.6%となっています。

図表 56 泊りがけで家族以外がみる必要性の有無



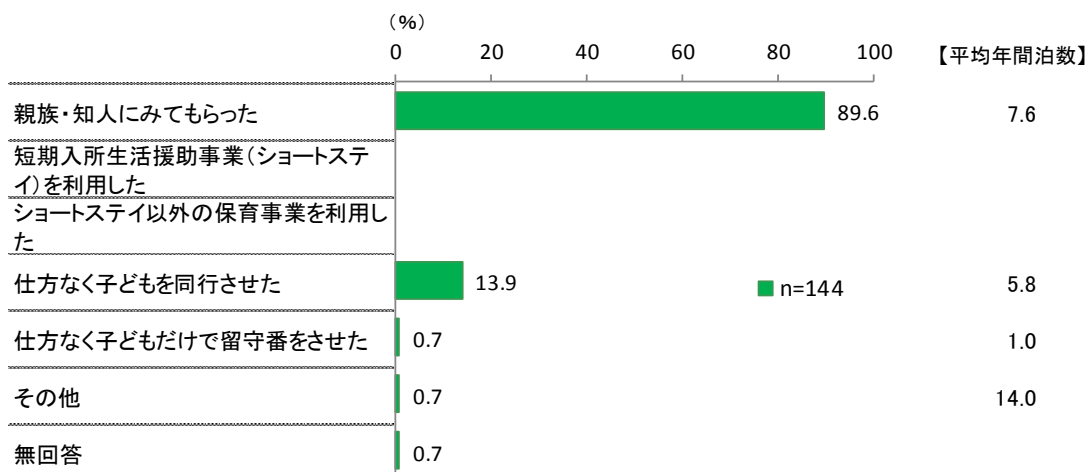
<対処方法>

※ 『泊りがけで家族以外がみる必要性の有無』で「あった」と回答した方のみ

泊りがけで子どもを家族以外がみる必要があった際の対処方法は、「親族・知人にみてもらった」と回答した割合が89.6%となっています。

年間泊数の平均は、「親族・知人にみてもらった」が7.6日、「仕方なく子どもを同行させた」が5.8日などとなっています。

図表 57 必要があった際の対処方法と年間泊数



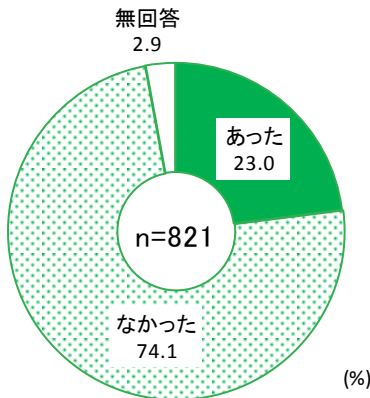
4. 一時的に小学生の子どもを預けたことの有無

問 この1年間に、平日または土曜日・休日に関係なく、緊急の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）で、お子さんの面倒をみられなくなり、家族以外の誰かに一時的に預けたことはありますか。 またその理由は何ですか。（複数回答可） 【小学生：問 15】

<一時的に預けたことの有無>

一時的に小学生の子どもを預けたことの有無については、「あった」と回答した割合は 23.0%、「なかった」と回答した割合は 74.1%となっています。

図表 58 一時的に小学生の子どもを預けたことの有無



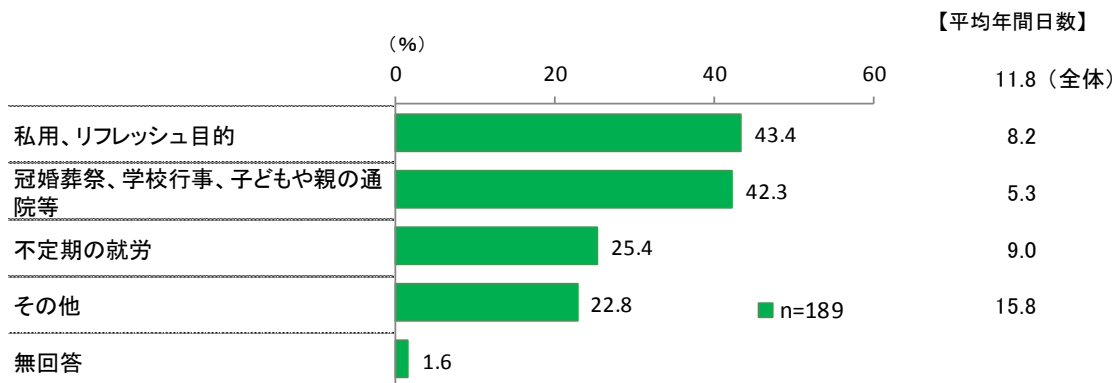
<一時的に預けた理由>

※『一時的に小学生の子どもを預けたことの有無』で、「あった」と回答した方のみ

一時的に預けた理由については、「私用、リフレッシュ目的」（43.4%）、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（42.3%）がともに4割以上と高くなっています。

年間日数の平均は、預けたことがある人全体では 11.8 日、「私用、リフレッシュ目的」が 8.2 日、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が 5.3 日、「不定期の就労」が 9.0 日となっています。

図表 59 一時的に預けることになった理由



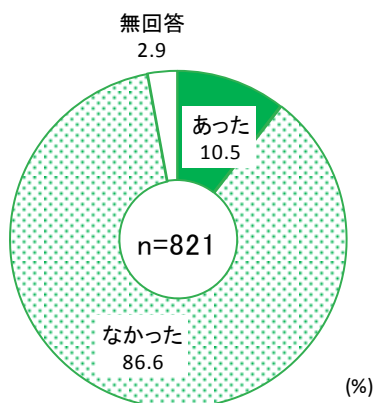
5. 泊りがけで小学生の子どもをみてもらう必要性の有無

問 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。また、その際の対処方法は何か。（複数回答可） 【小学生：問 16】

<泊りがけで預ける必要性の有無>

泊りがけで小学生の子どもをみてもらう必要性の有無について、「あった」と回答した割合は10.5%、「なかった」と回答した割合が86.6%となっています。

図表 60 泊りがけで小学生の子どもをみてもらう必要性の有無



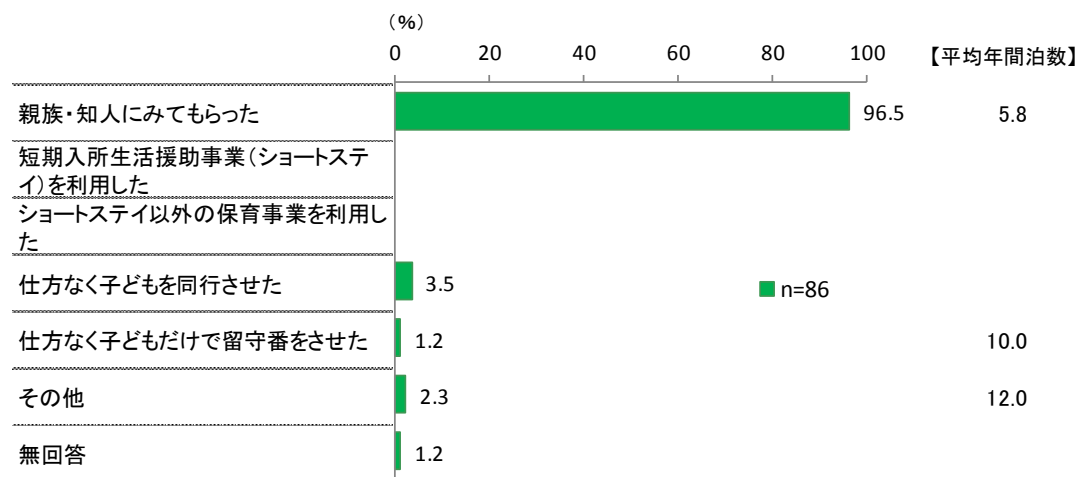
<対処方法>

※ 『泊りがけで小学生の子どもをみてもらう必要性の有無』で「あった」と回答した方のみ

泊りがけで預ける場合の対処方法について、「親族・知人にみてもらった」と回答した割合が96.5%で最も高くなっています。

年間泊数の平均は、「親族・知人にみてもらった」が5.8日、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が10.0日などとなっています。

図表 61 泊りがけで預ける場合の対処方法と年間泊数



※「仕方なく子どもを同行させた」は、日数の回答なし。

10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

1. 低学年のうちの放課後の過ごし方の希望

問 お子さんが小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（複数回答可） また、希望する週あたり日数は何日ですか。

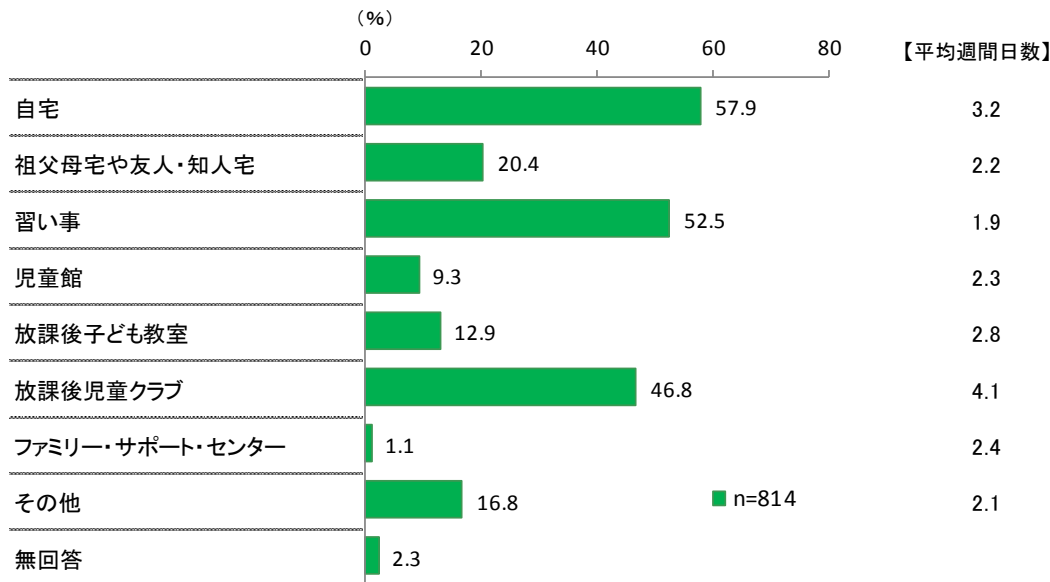
【就学前：問 22】

低学年のうちの放課後を過ごさせたい場所は、「自宅」と回答した割合が 57.9%で最も高く、次いで「習い事」（52.5%）、「放課後児童クラブ」（46.8%）の順となっています。

希望する週間日数の平均は、「放課後児童クラブ」が 4.1 日、「自宅」が 3.2 日、「放課後子ども教室」が 2.8 日などとなっています。

年齢別では、「祖父母宅や友人・知人宅」と回答した割合は 0 歳・1 歳で他の年齢より高くなっています。また、「放課後児童クラブ」と回答した割合は 1 歳及び 4 歳・5 歳で他の年齢より若干高くなっています。

図表 62 低学年のうちの放課後を過ごさせたい場所と週間日数



図表 63 低学年のうちの放課後を過ごさせたい場所×年齢別



2. 高学年になった際の放課後の過ごし方の希望

問 お子さんが小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（複数回答可） また、希望する週あたり日数は何日ですか。

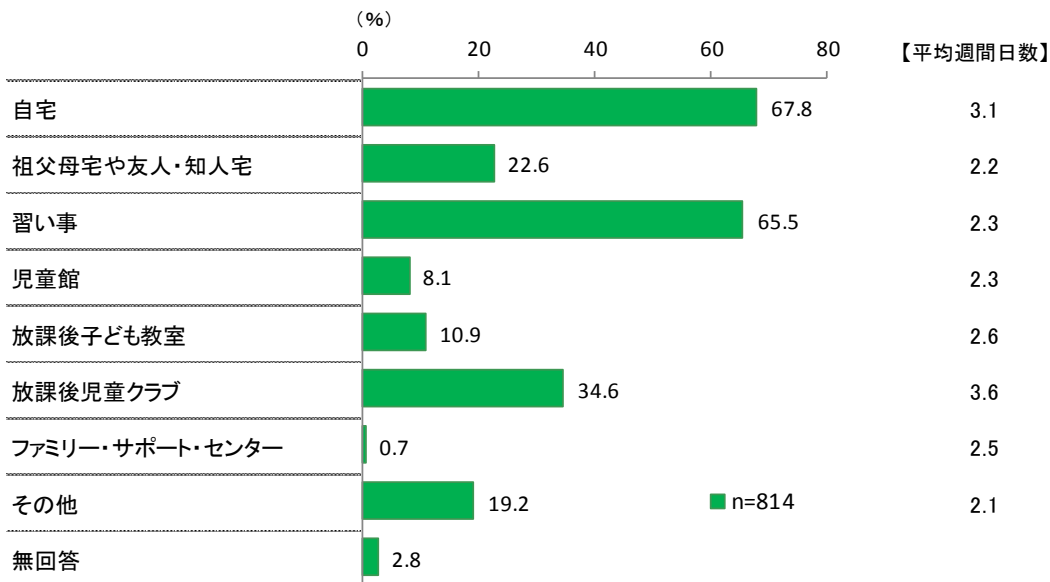
【就学前：問 23】

高学年になった際に放課後を過ごさせたい場所は、「自宅」（67.8%）、「習い事」（65.5%）がともに6割以上と高く、次いで「放課後児童クラブ」が34.6%となっています。

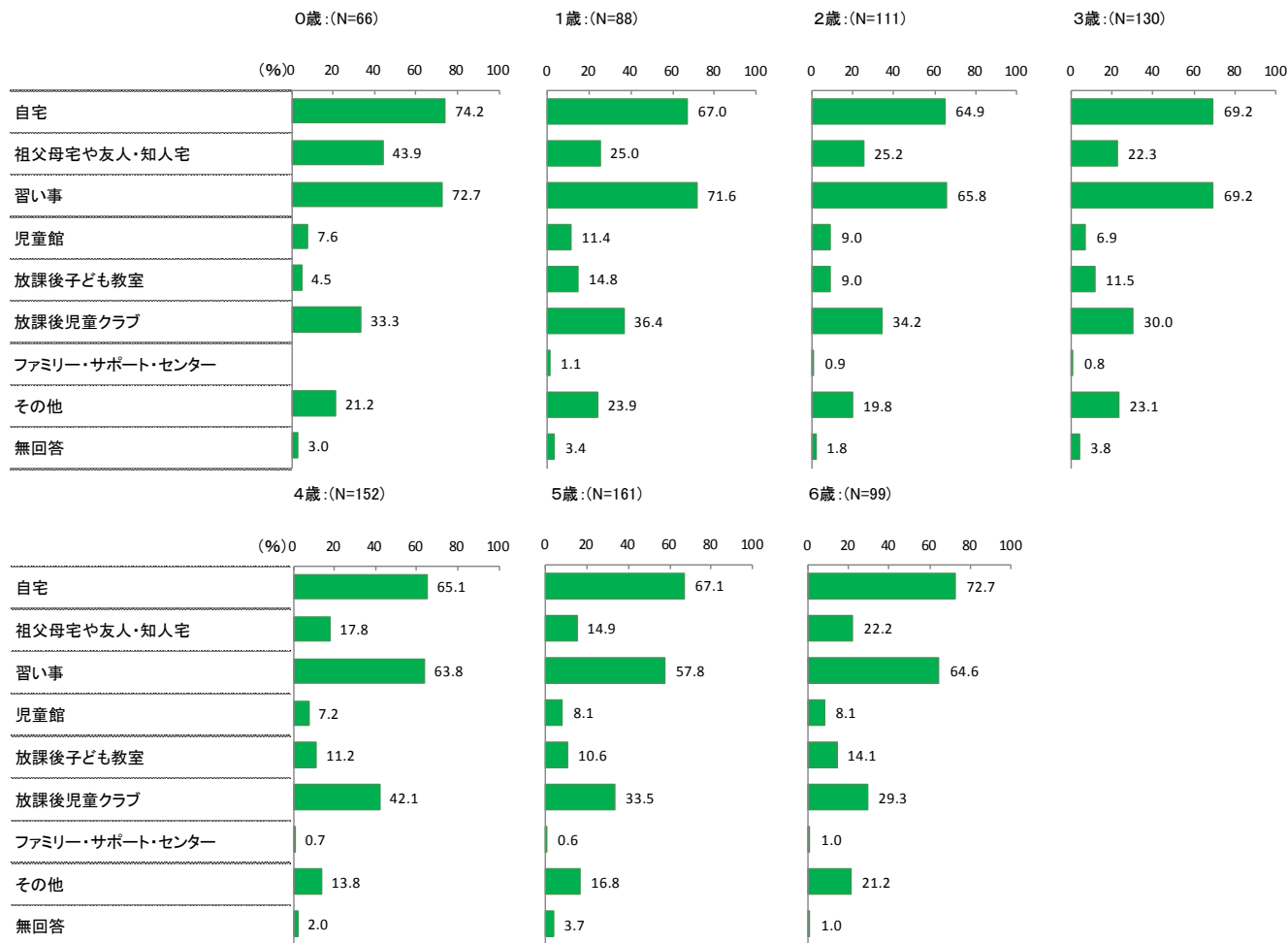
希望する週間日数の平均は、「放課後児童クラブ」が3.6日、「自宅」が3.1日、「放課後子ども教室」が2.6日、「ファミリー・サポート・センター」が2.5日などとなっています。

年齢別では、「祖父母宅や友人・知人宅」と回答した割合は0歳で他の年齢より高くなっています。また、「放課後児童クラブ」と回答した割合は4歳で他の年齢より若干高くなっています。

図表 64 高学年になった際に放課後を過ごさせたい場所と週間日数



図表 65 高学年になった際に放課後を過ごさせたい場所×年齢別



3. 土・日・祝日の放課後児童クラブの利用希望

問 土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。 【就学前：問 24】

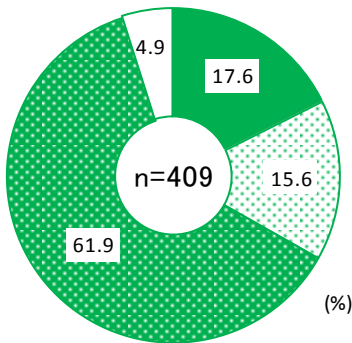
※ 『1 低学年のうちの放課後の過ごし方の希望』または『2 高学年になった際の放課後の過ごし方の希望』で「放課後児童クラブ」と回答した方のみ

土曜日の放課後児童クラブの利用希望について、“利用したい（「低学年の間は利用したい」＋「高学年になっても利用したい）」と回答した割合は 33.2% となっています。

日曜・祝日は、“利用したい”と回答した割合は 12.0% となっています。

(1) 土曜日

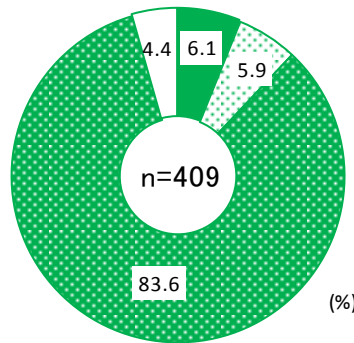
図表 66 放課後児童クラブの利用希望



- 低学年の間は利用したい
- 高学年になっても利用したい
- 利用する必要はない
- 無回答

(2) 日曜・祝日

図表 67 放課後児童クラブの利用希望



- 低学年の間は利用したい
- 高学年になっても利用したい
- 利用する必要はない
- 無回答

4. 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望

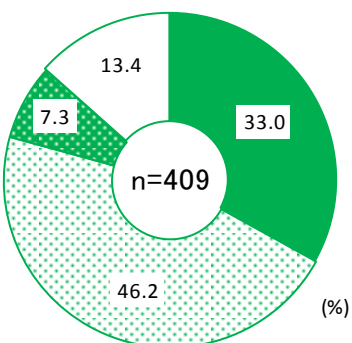
問 夏休みや冬休みなどの長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

【就学前：問 25】

※ 『1 低学年のうちの放課後の過ごし方の希望』または『2 高学年になった際の放課後の過ごし方の希望』で「放課後児童クラブ」と回答した方のみ

長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望について、“利用したい（「低学年の間は利用したい」＋「高学年になっても利用したい）」と回答した割合は 79.2% となっています。

図表 68 長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望



- 低学年の間は利用したい
- 高学年になっても利用したい
- 利用する必要はない
- 無回答

1 1. 育児休業など職場の支援制度について

1. 育児休業取得の有無

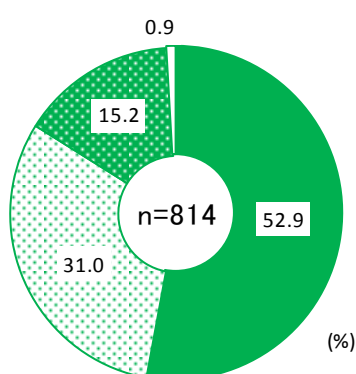
問 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

【就学前：問 26】

育児休業について、「取得した（取得中である）」と回答した割合は、「母親」が 31.0%、「父親」が 2.2%となっています。

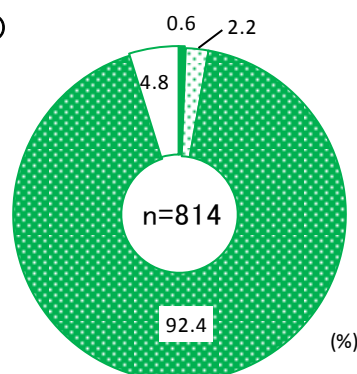
図表 69 育児休業取得の有無

(母親)



- 働いていなかった
- ▨ 取得した(取得中である)
- 取得していない
- 無回答

(父親)



- 働いていなかった
- ▨ 取得した(取得中である)
- 取得していない
- 無回答

2. 育児休業取得後の職場復帰

問 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

【就学前：問 26-1】

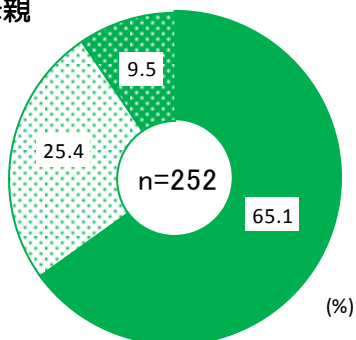
※ 『1 育児休業取得の有無』で父母いずれかが「取得した（取得中である）」と回答した方のみ

母親で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した割合が 65.1%となっています。一方、「育児休業中に離職した」と回答した割合は 9.5%となっています。

父親は該当者数が少ないため、参考値です。

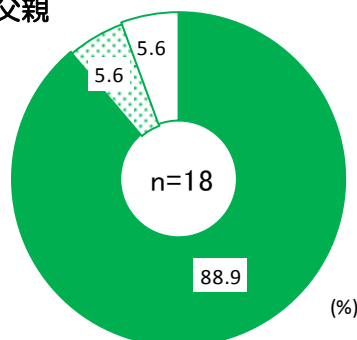
図表 70 育児休業取得後の職場復帰

(1) 母親



- 育児休業取得後、職場に復帰した
- ▨ 現在も育児休業中である
- 育児休業中に離職した

(2) 父親



- 育児休業取得後、職場に復帰した
- ▨ 現在も育児休業中である
- 育児休業中に離職した
- 無回答

3. 育児休業期間の希望

問 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。 【就学前：問 26-2】

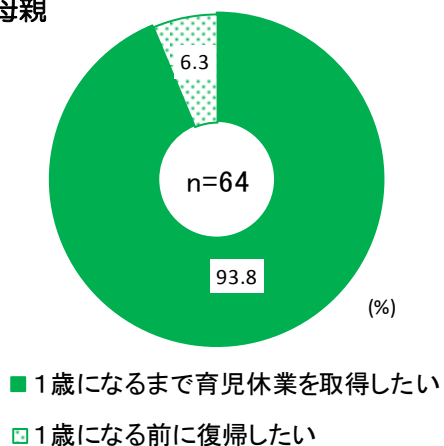
※ 『2 育児休業取得後の職場復帰』で「現在も育児休業中である」と回答した方のみ

母親の育児休業期間の希望について、「1歳になるまで育児休業を取得したい」と回答した割合が93.8%を占めています。

父親は該当者数が1人のため、不掲載とします。

図表 71 育児休業期間の希望

(1) 母親



1 2. 市の子育て支援全般について

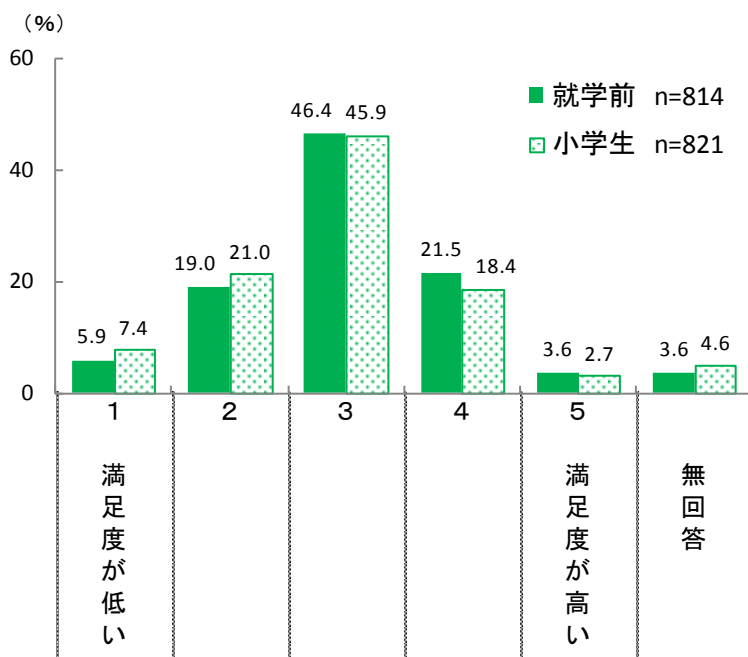
1. 市の子育て支援の満足度

問 市の子育て環境や支援の満足度について、1～5の5段階評価でお答えください。

【就学前：問 28、小学生：問 19】

市の子育て支援の満足度について、就学前・小学生ともに5段階評価中「3」と回答した割合が最も高くなっています。

図表 72 子育て支援満足度



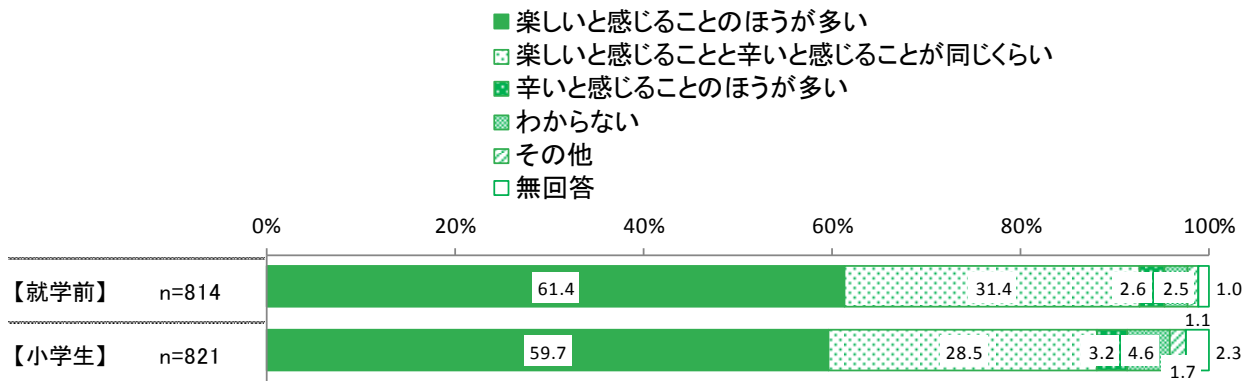
2. 子育ての楽しさ

問 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。

【就学前：問 30、小学生：問 17】

子育ての楽しさの度合いについて、「楽しいと感じることのほうが多い」と回答した割合は、就学前・小学生ともに約6割となっています。

図表 73 子育ての楽しさの度合い



3. 市の子育て環境への評価

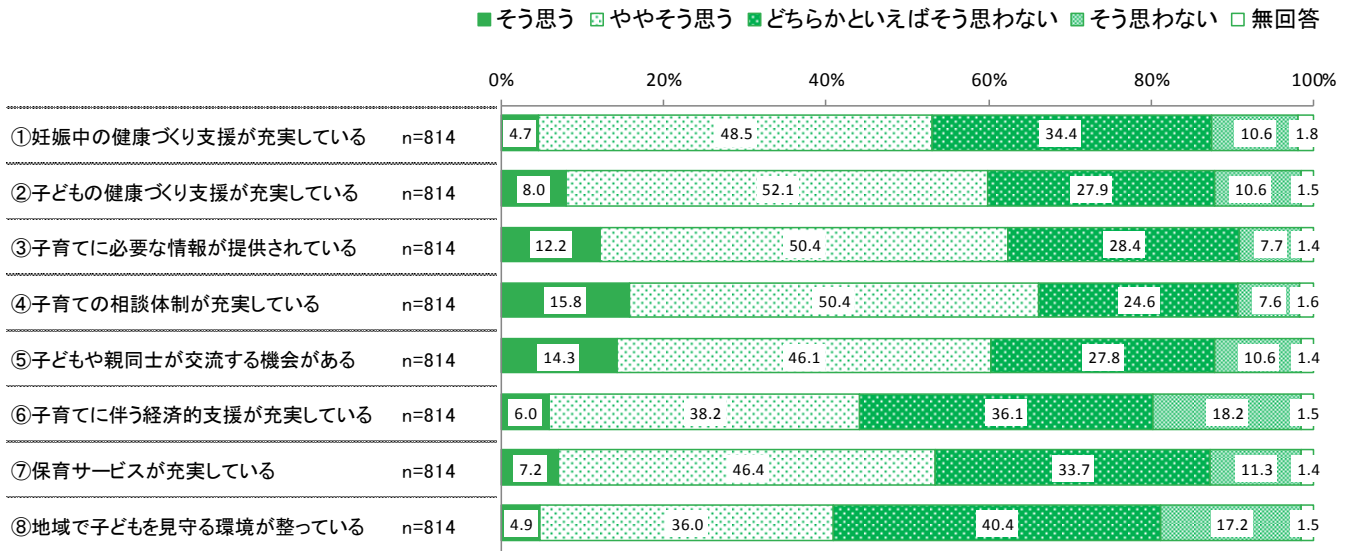
問 市の子育て環境についてどのように感じますか。

【就学前：問 29、小学生：問 20】

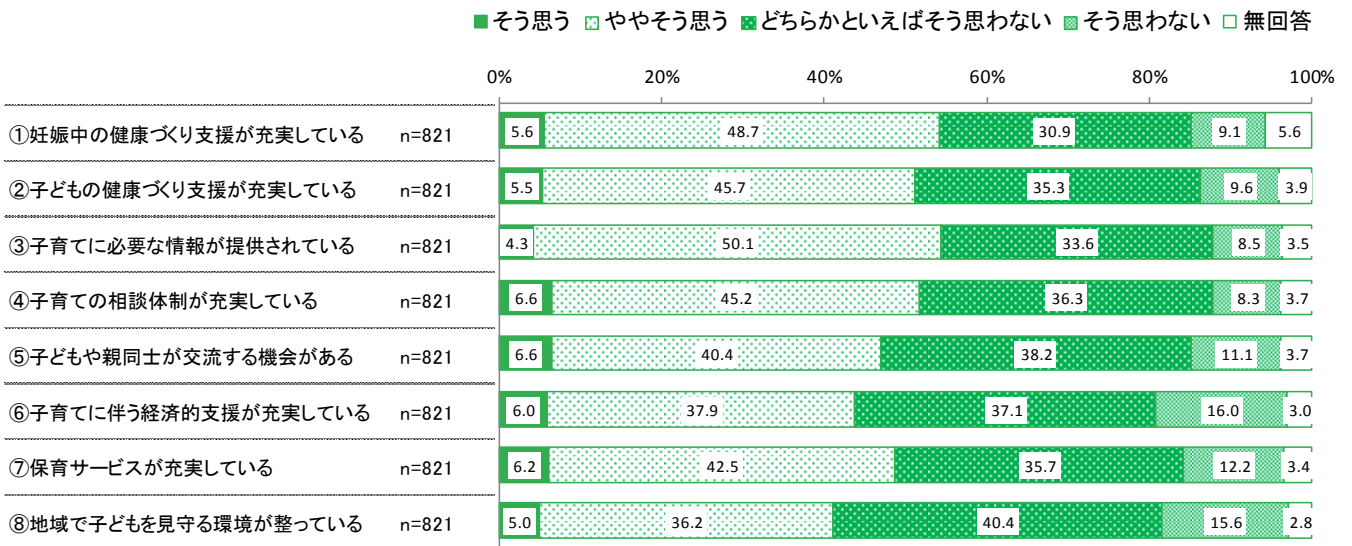
市の子育て環境について、最も“評価が高い（「そう思う」＋「ややそう思う」）”のは、就学前は「子育ての相談体制が充実している」で66.2%、小学生は「子育てに必要な情報が提供されている」「妊娠中の健康づくり支援が充実している」でともに54.3%となっています。

図表 74 子育て環境への評価

【就学前】



【小学生】



1 3. 幼児教育・保育の無償化について

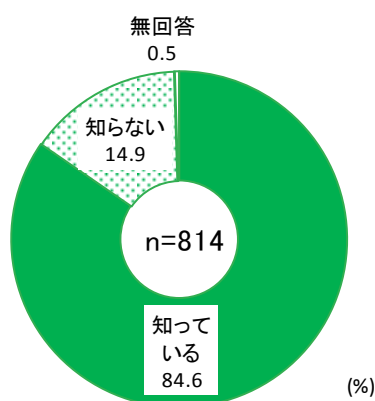
1. 幼児教育・保育の無償化の認知度

問 2019年10月から幼児教育・保育の無償化が実施される予定であることをご存知ですか。

【就学前：問31】

2019年10月から実施を予定されている幼児教育・保育の無償化の認知について、「知っている」と回答した割合は84.6%となっています。

図表 75 幼児教育・保育の無償化の認知度



2. 無償化による教育・保育の利用の変更希望

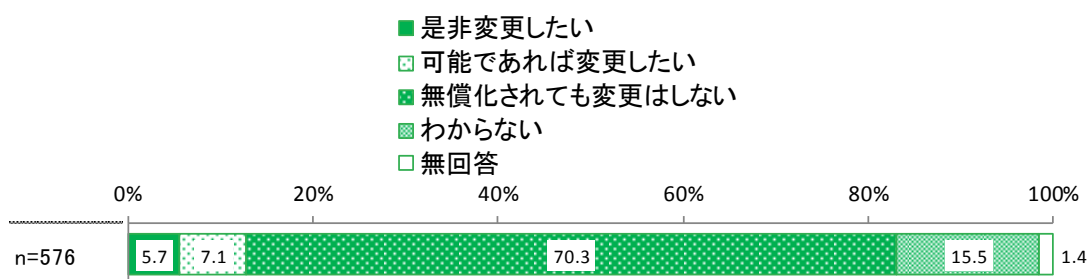
問 あなたは、無償化によって、お子さんの教育・保育の利用を変更したいと思いますか。

【就学前：問33】

※ 『4-1 定期的な教育・保育事業の利用有無』で「利用している」と回答した方のみ

無償化による教育・保育の利用の変更希望については、「無償化されても変更はしない」と回答した割合が70.3%で最も高く、“変更したい（「是非変更したい」＋「可能であれば変更したい」）”と回答した割合は12.8%、「わからない」と回答した割合は15.5%となっています。

図表 76 無償化による教育・保育の利用の変更希望



あま市 子育てに関するアンケート調査 調査結果報告

平成 31 年 3 月

あま市役所 福祉部 子育て支援課

あま市甚目寺二伴田 76 番地

TEL : 052-444-3173 FAX : 052-443-3555